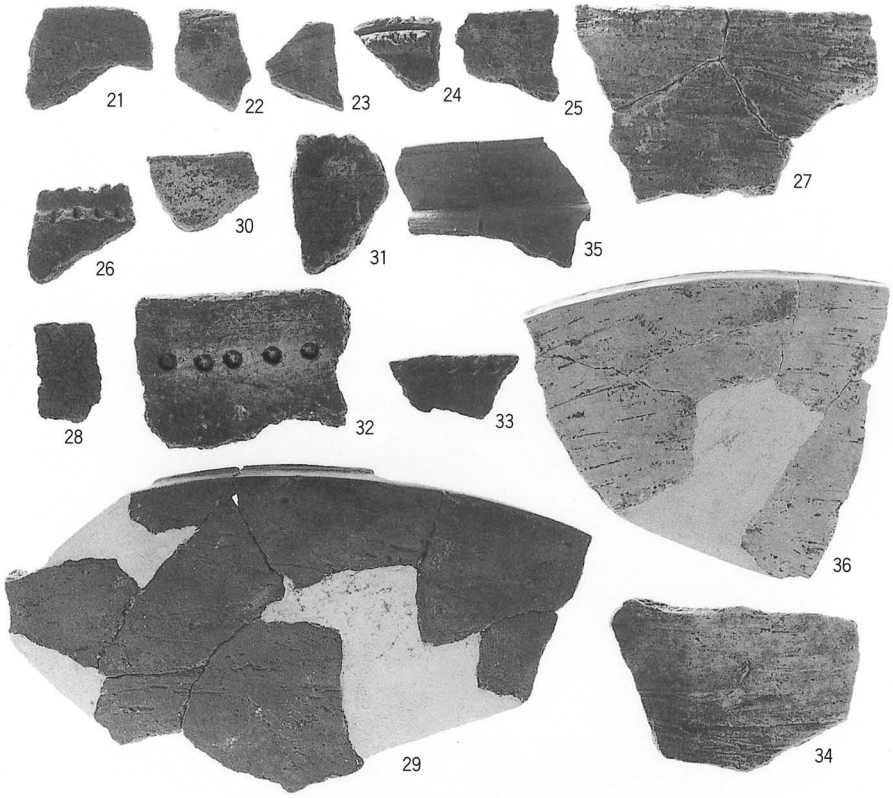
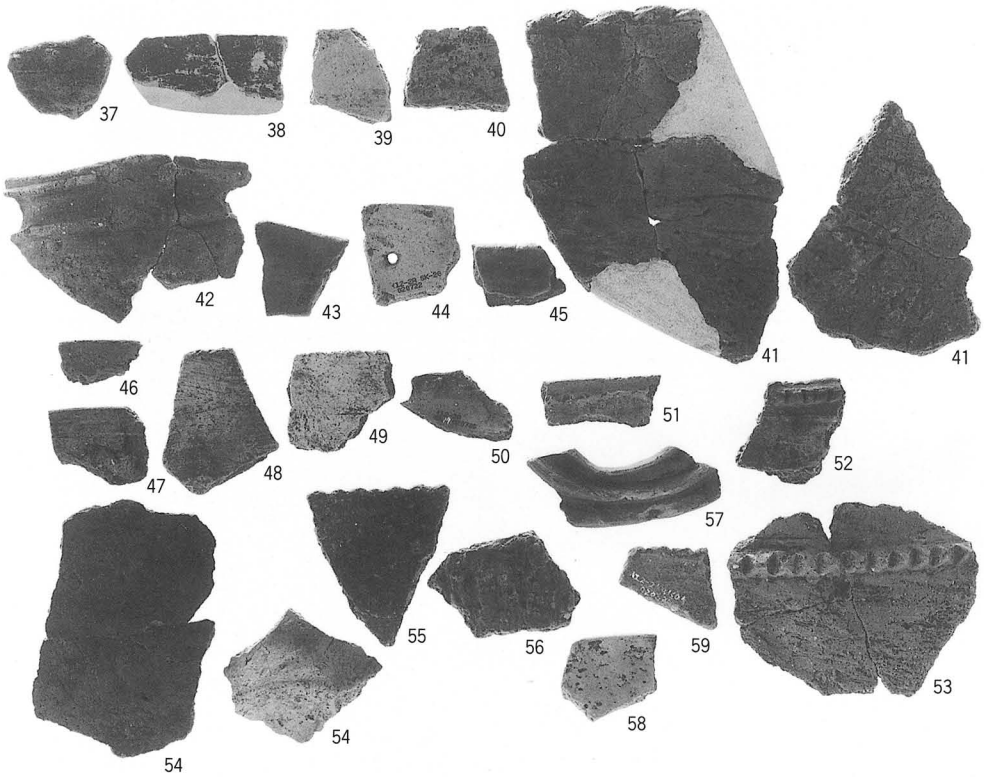
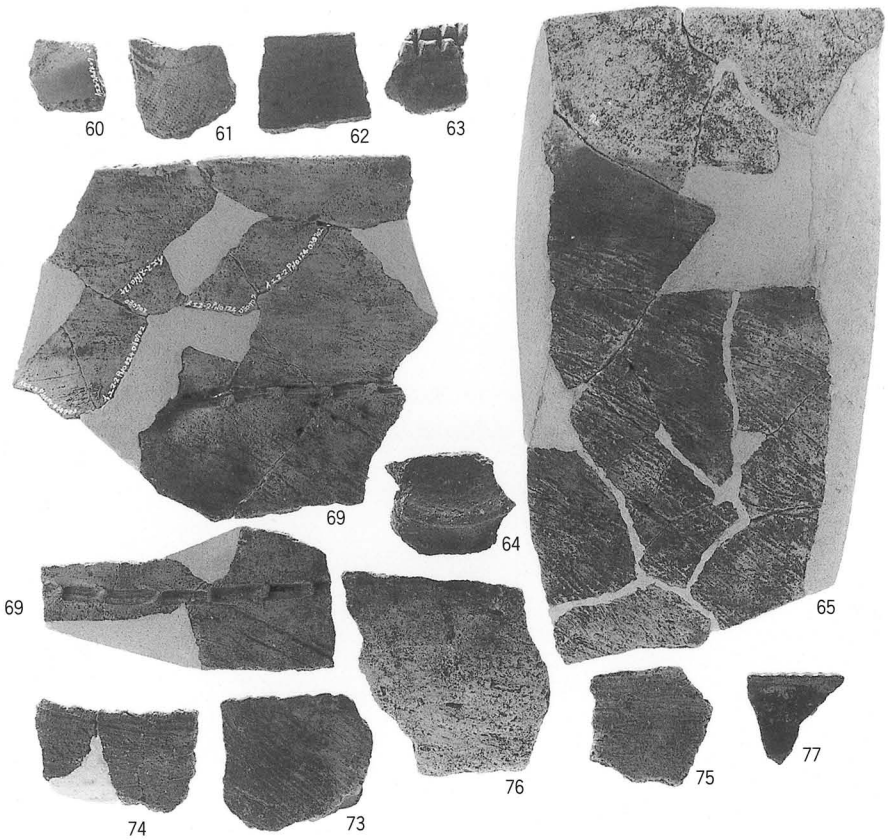
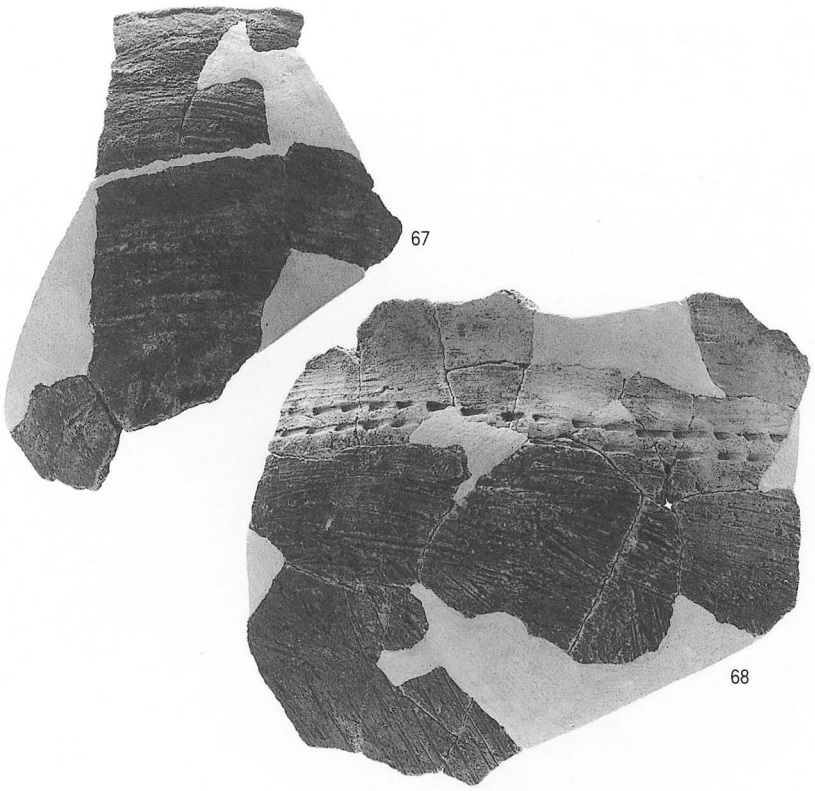

21
22
23
24
25
27
26
30
31
35
28
32
33
36
29
34


37
38
39
40
42
43
44
45
41
41
46
47
48
49
50
51
52
57
55
56
59
53
54
54
58

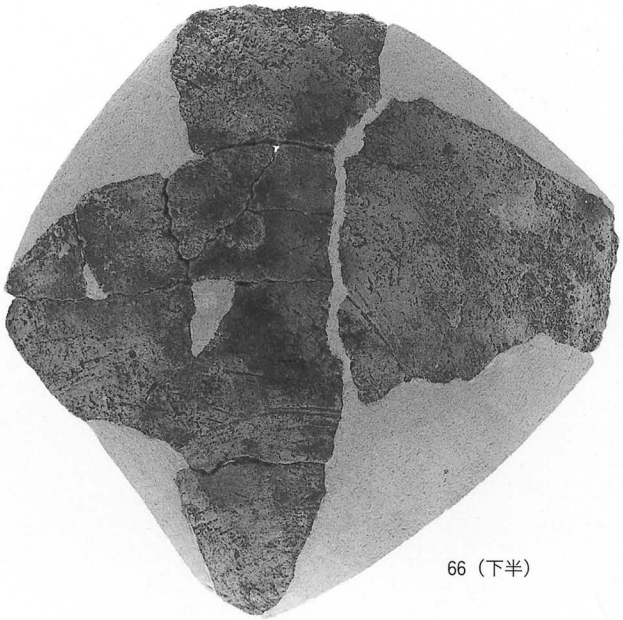
縄文土器3（土坑3～39）





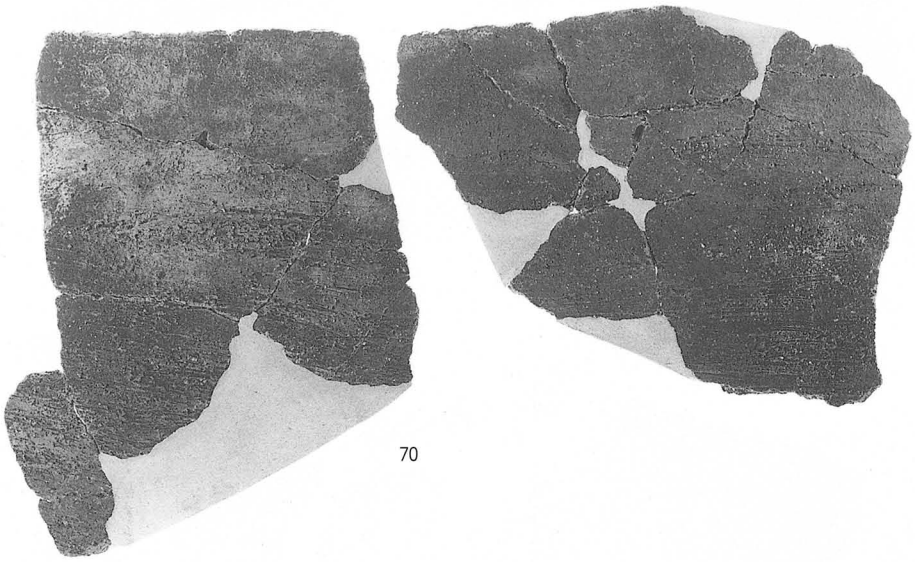
縄文土器4（土坑38・41）

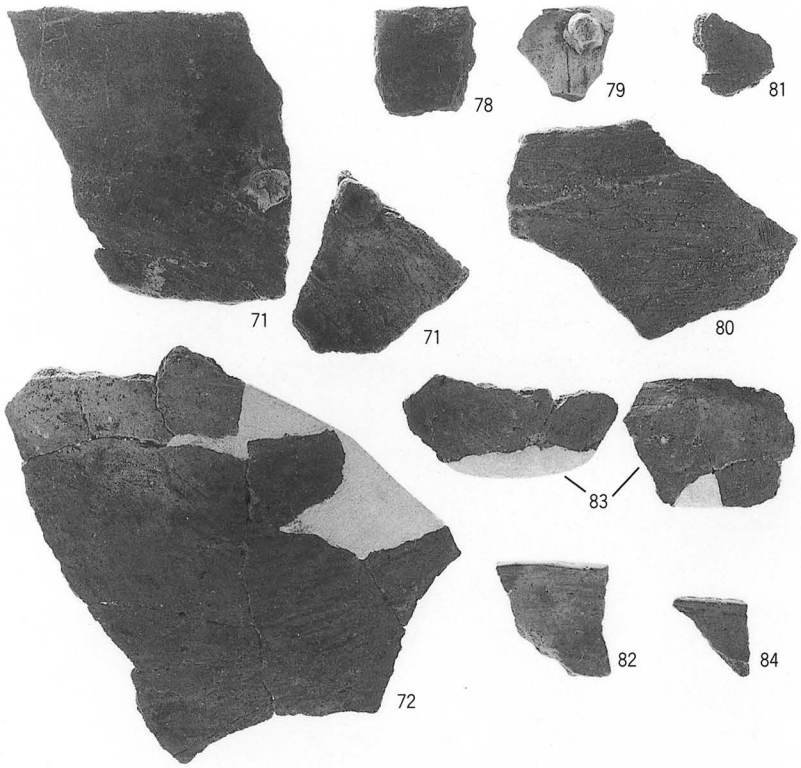
66



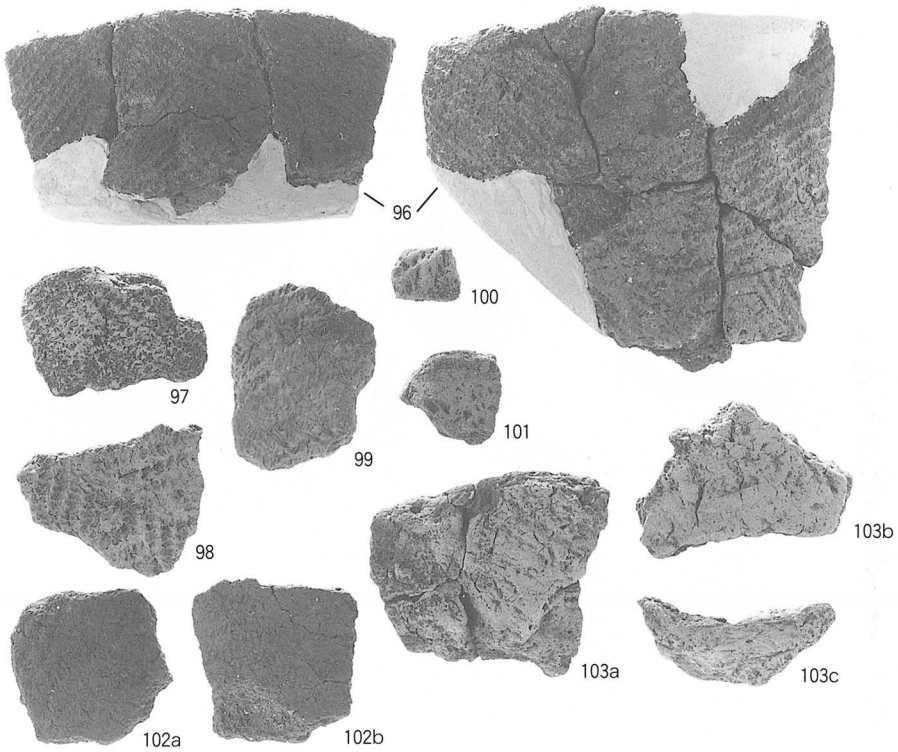
66（下半）

縄文土器5（土坑38）

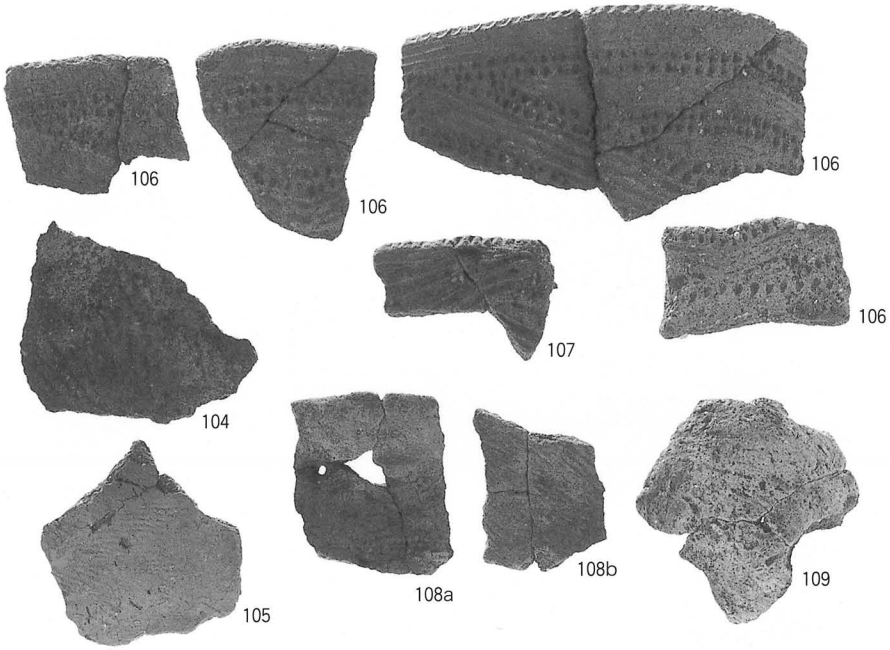


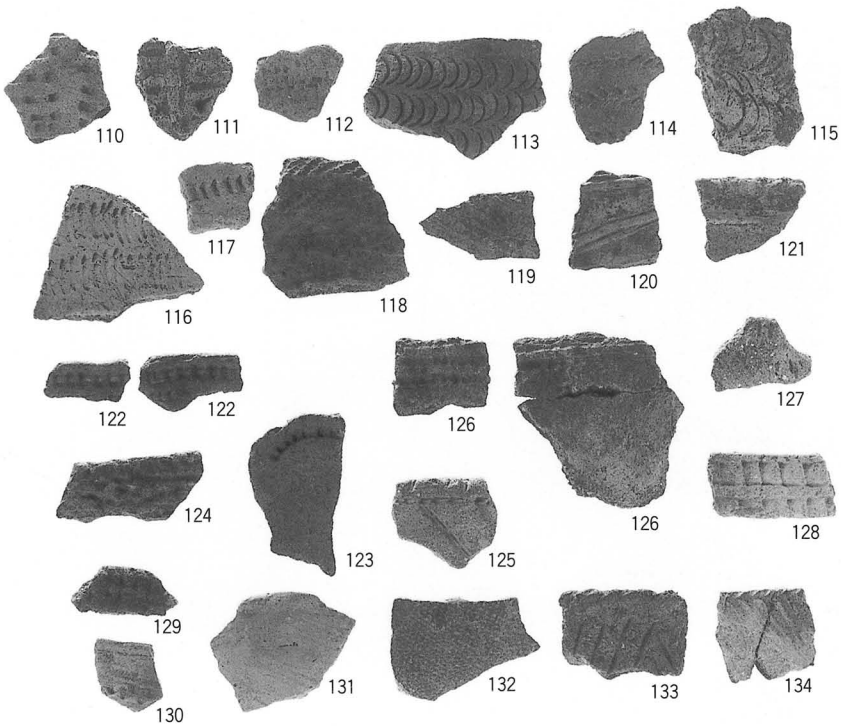


縄文土器6（土坑38～50）

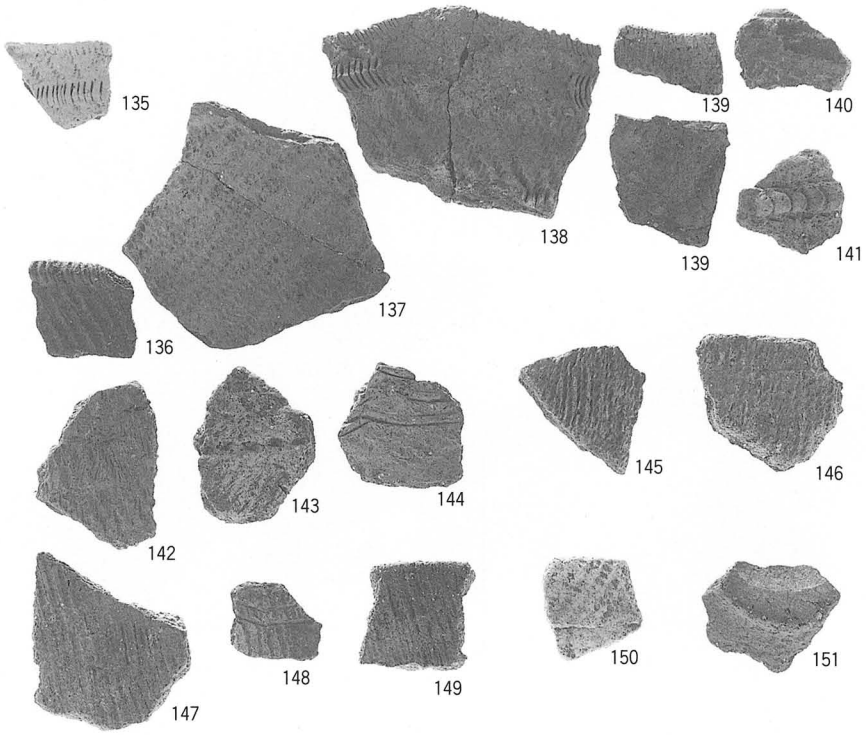


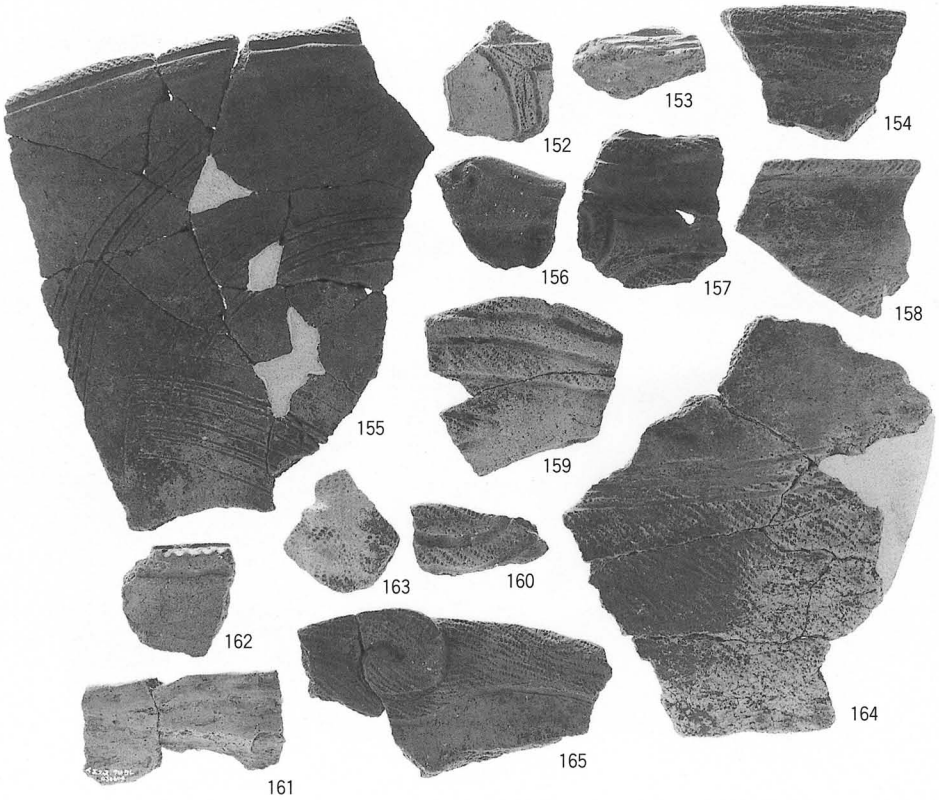
縄文土器7（土坑51～P777　縄文時代早期）



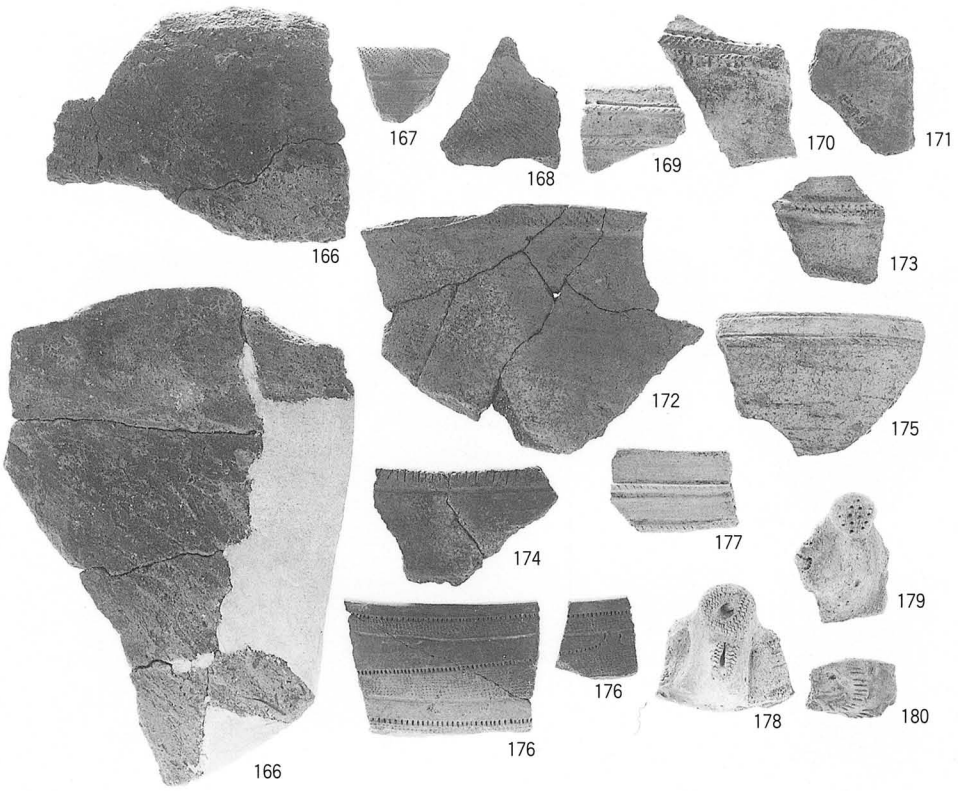


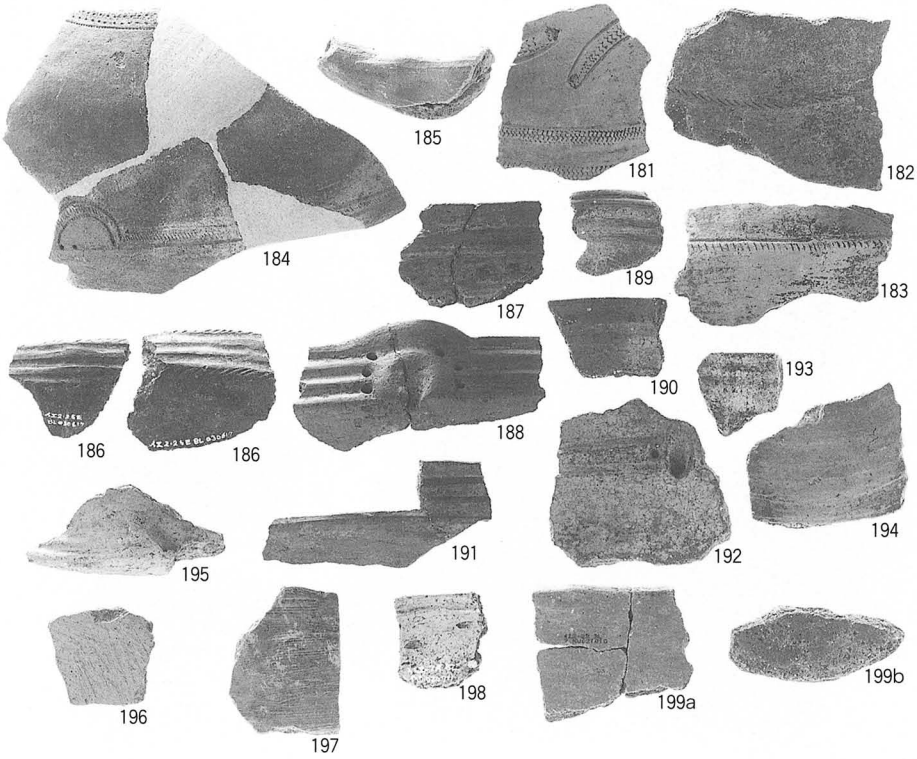
縄文土器8（縄文時代早期～前期）



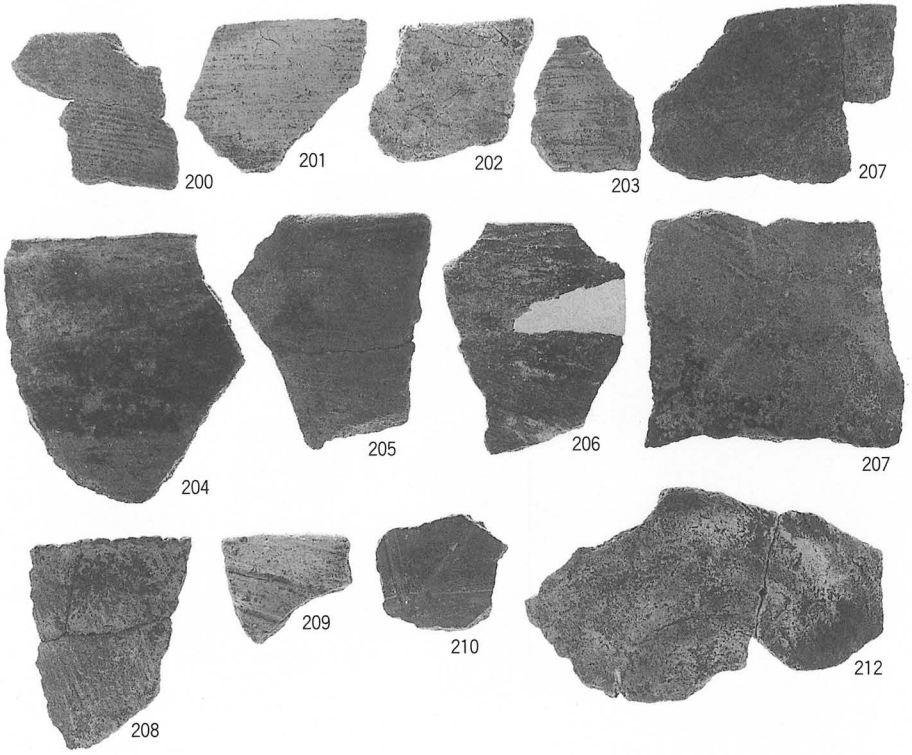


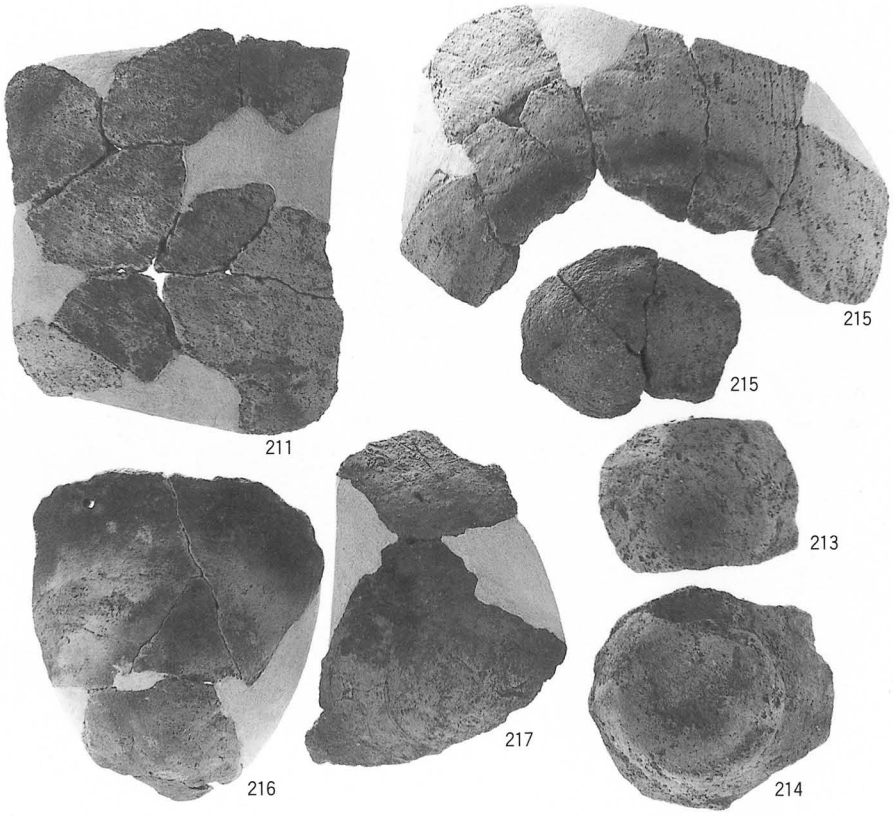
縄文土器9（縄文時代中期～後期）



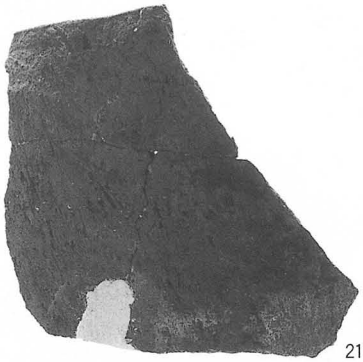


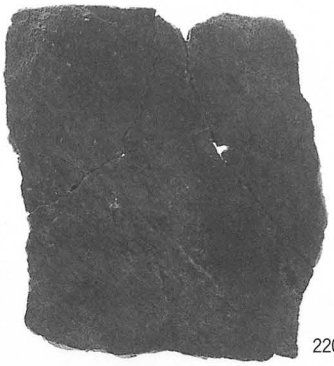
縄文土器10（縄文時代後期）

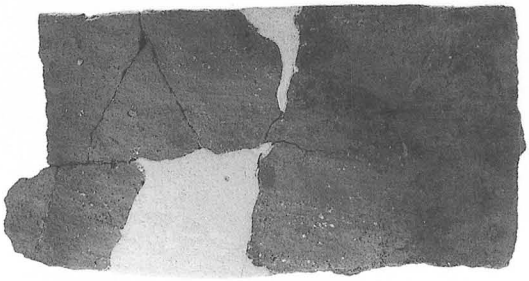




縄文土器11（縄文時代後期）

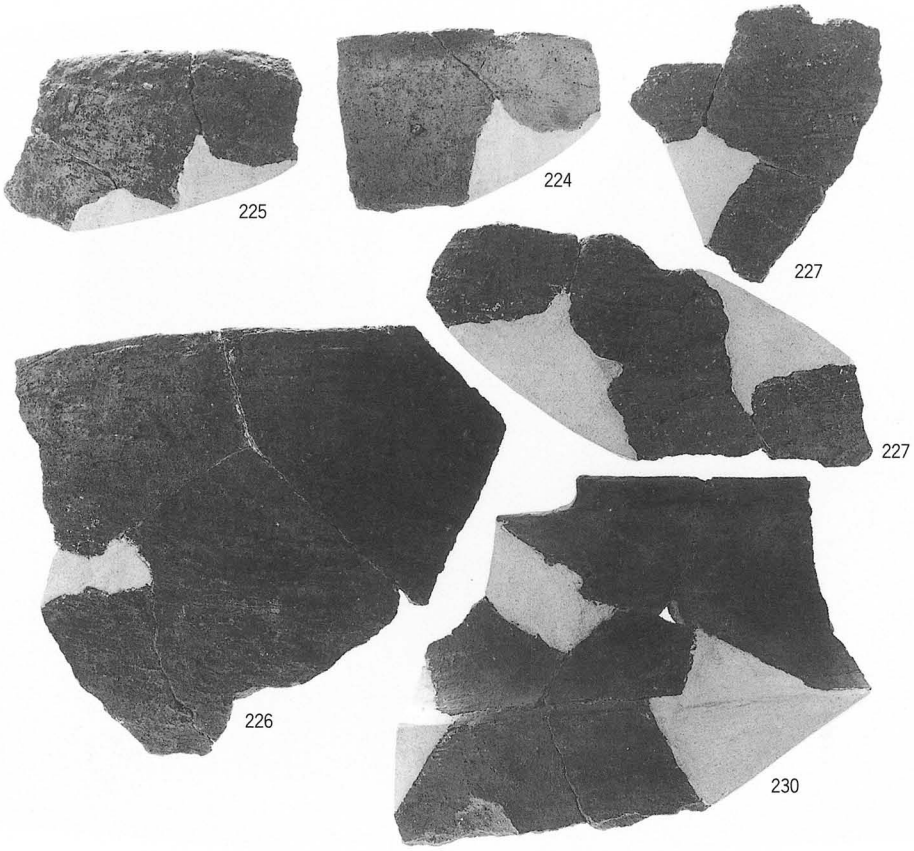

219

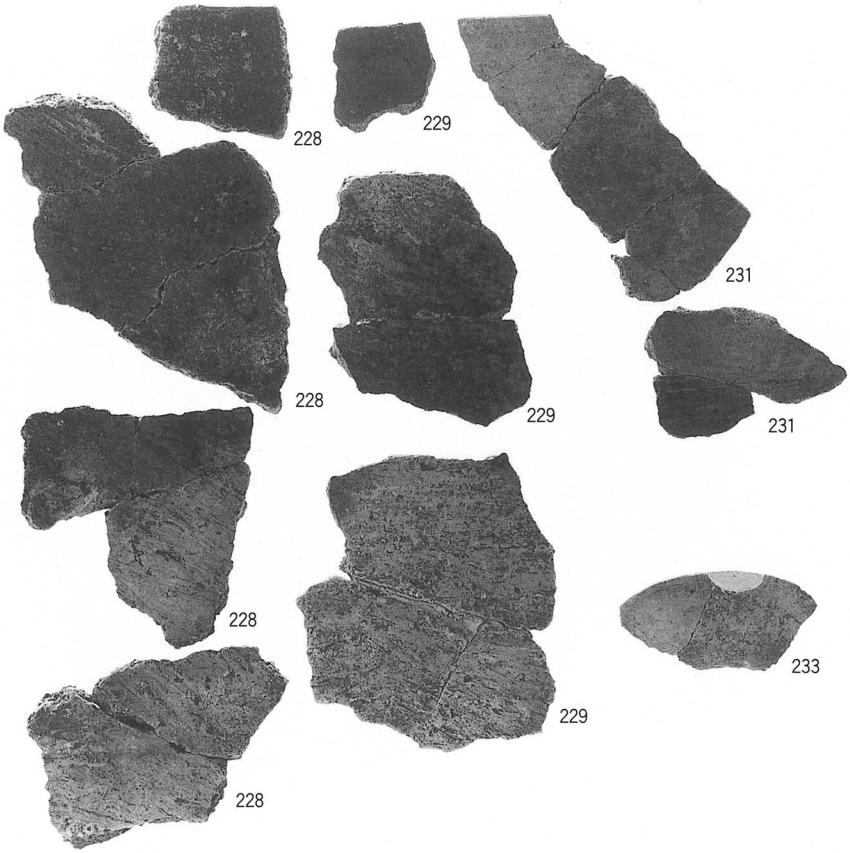

220


221

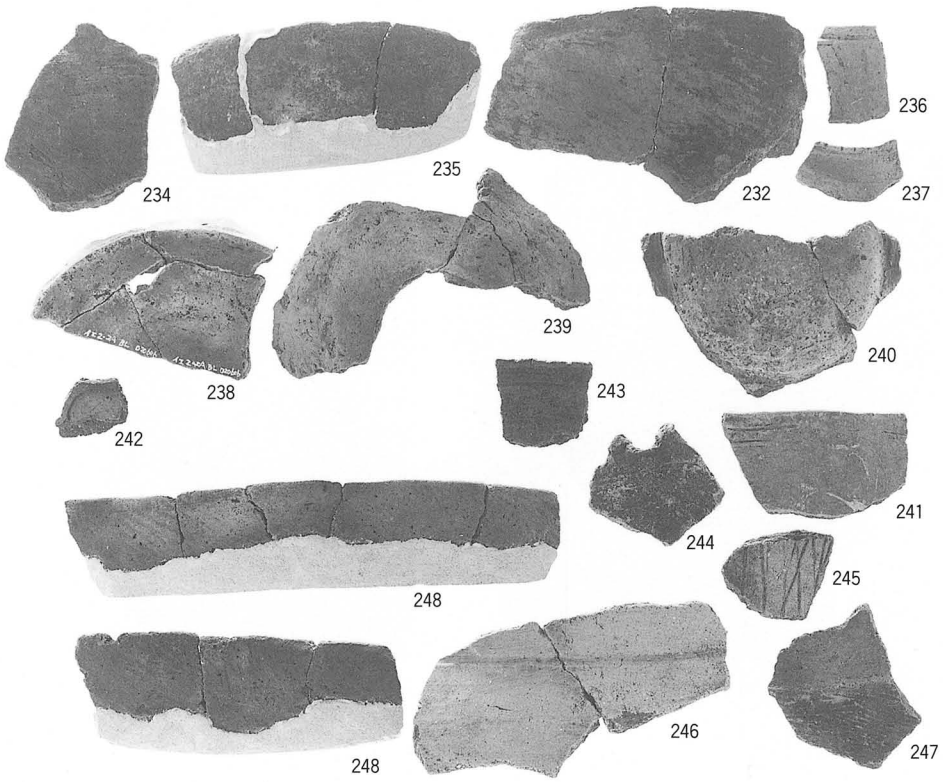
222

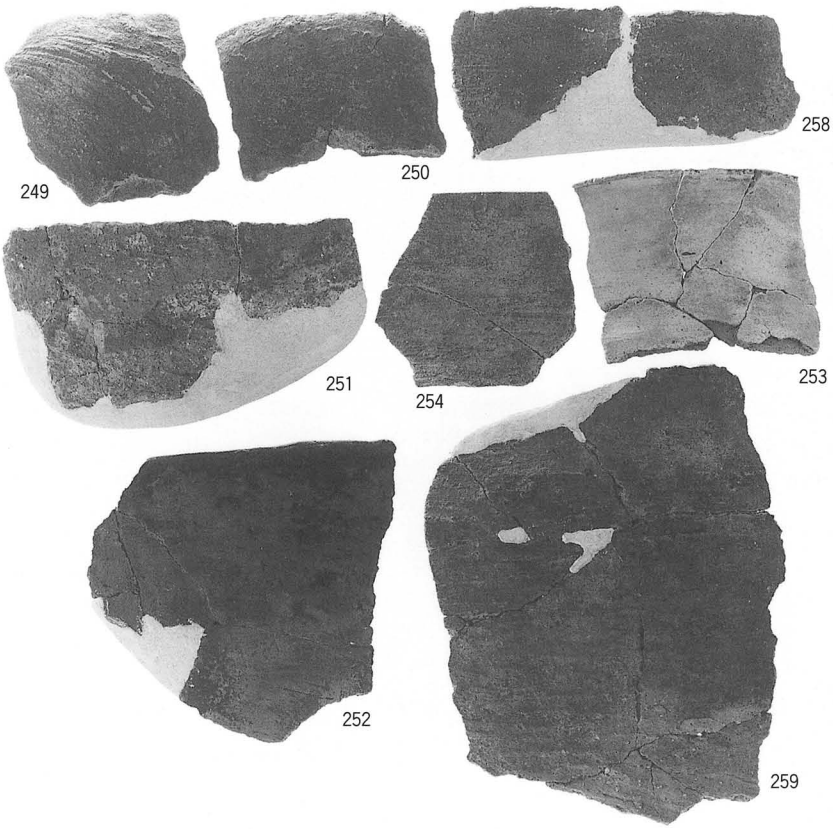
縄文土器12（縄文時代後期）



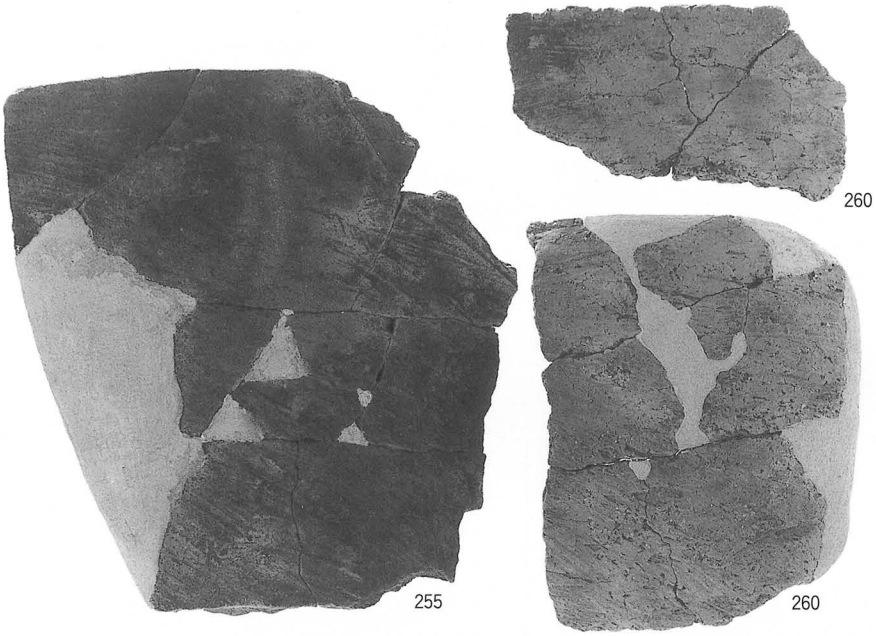


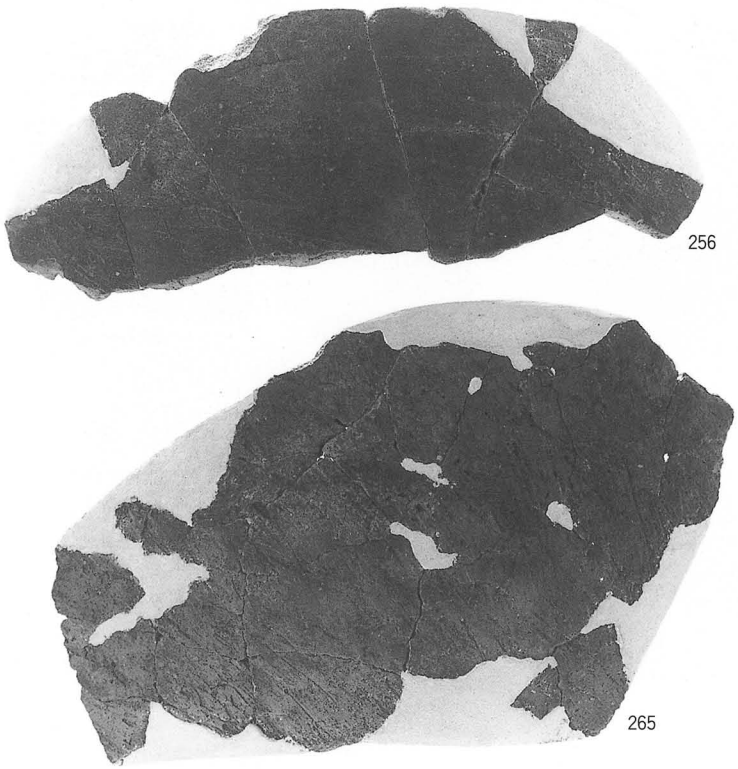
縄文土器13（縄文時代後期～晩期）



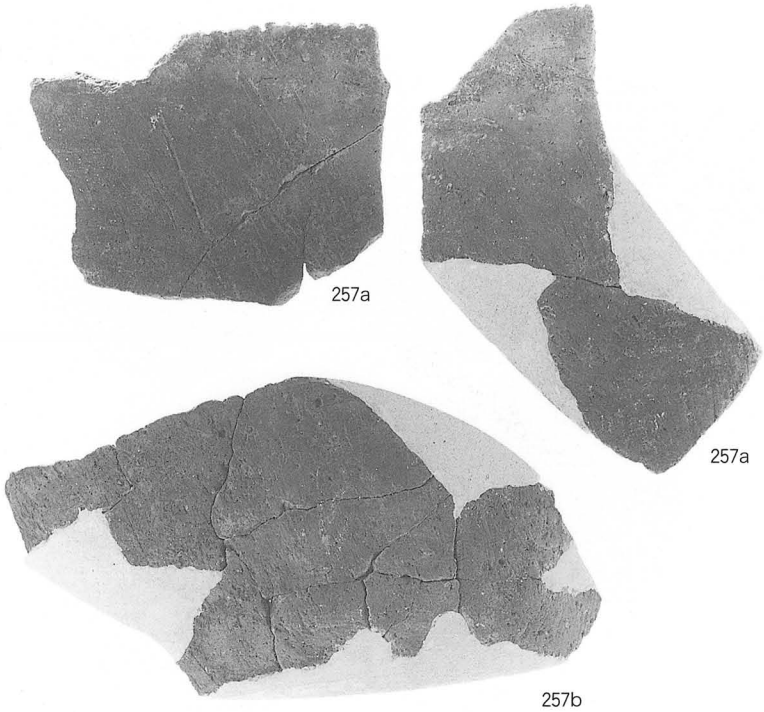


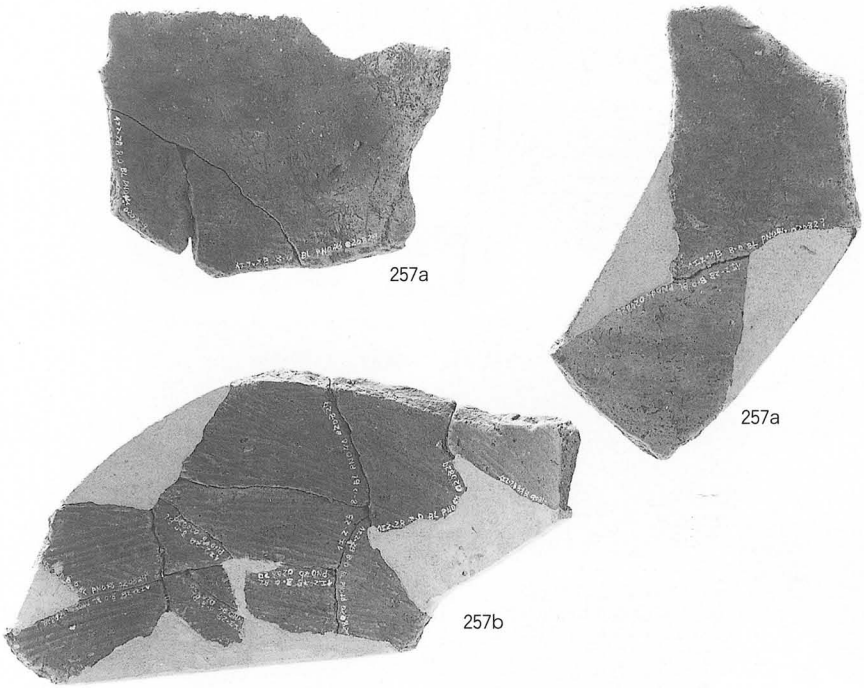
縄文土器14（縄文時代後期～晩期）



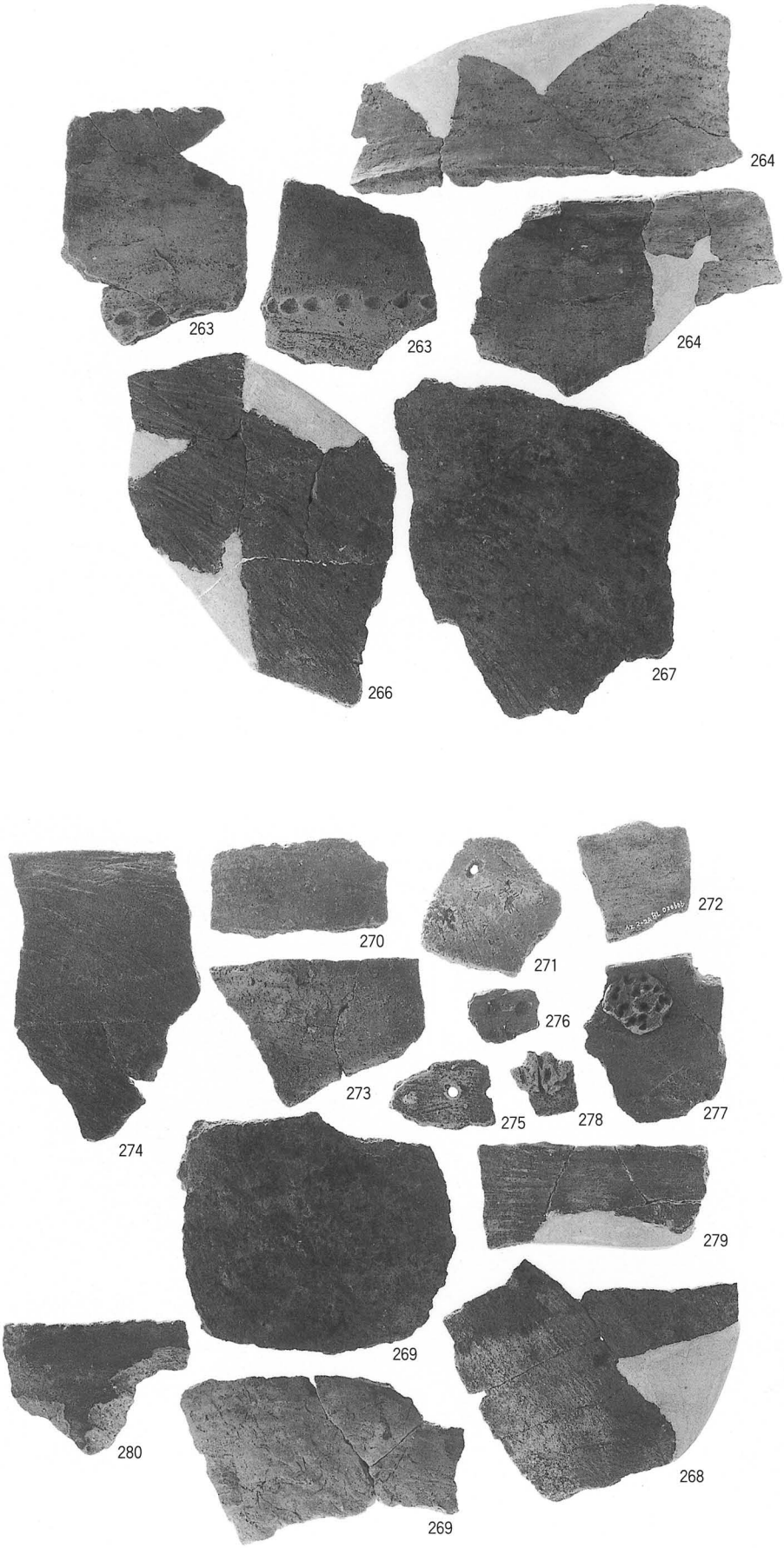


縄文土器15（縄文時代晩期）

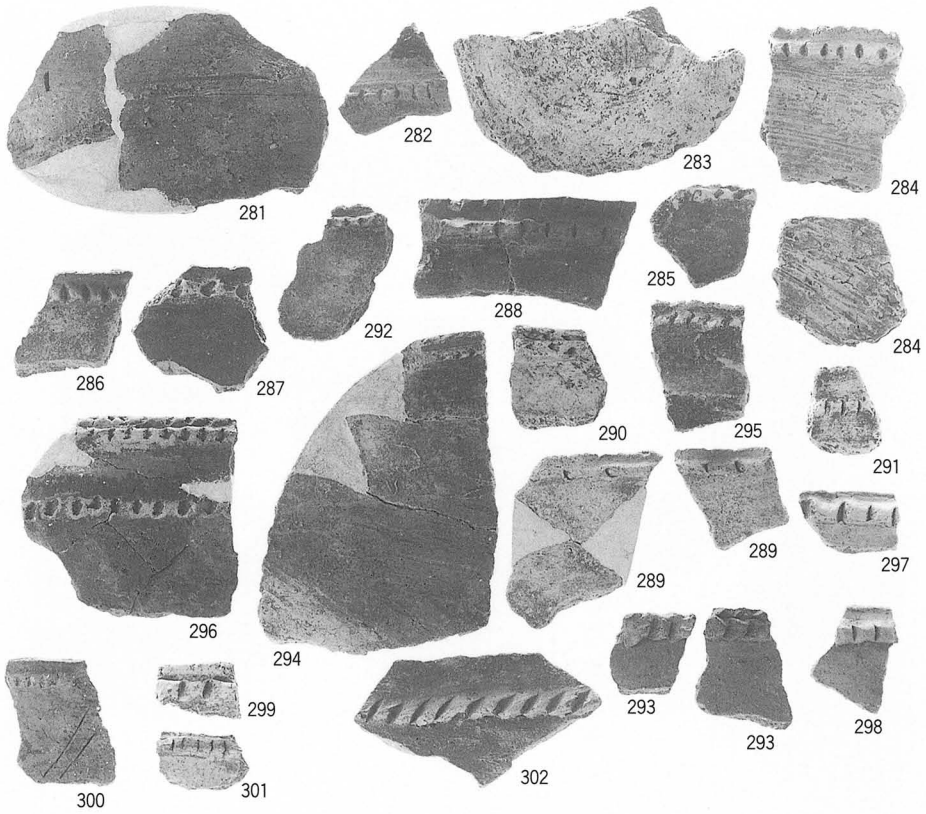


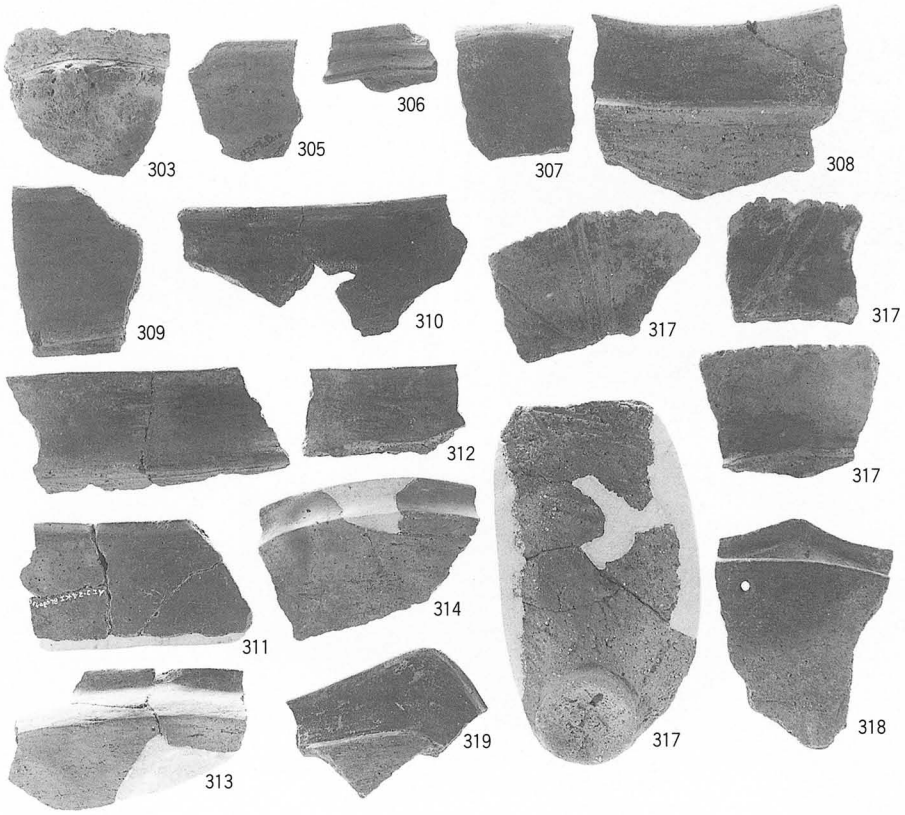


縄文土器16（縄文時代晩期）

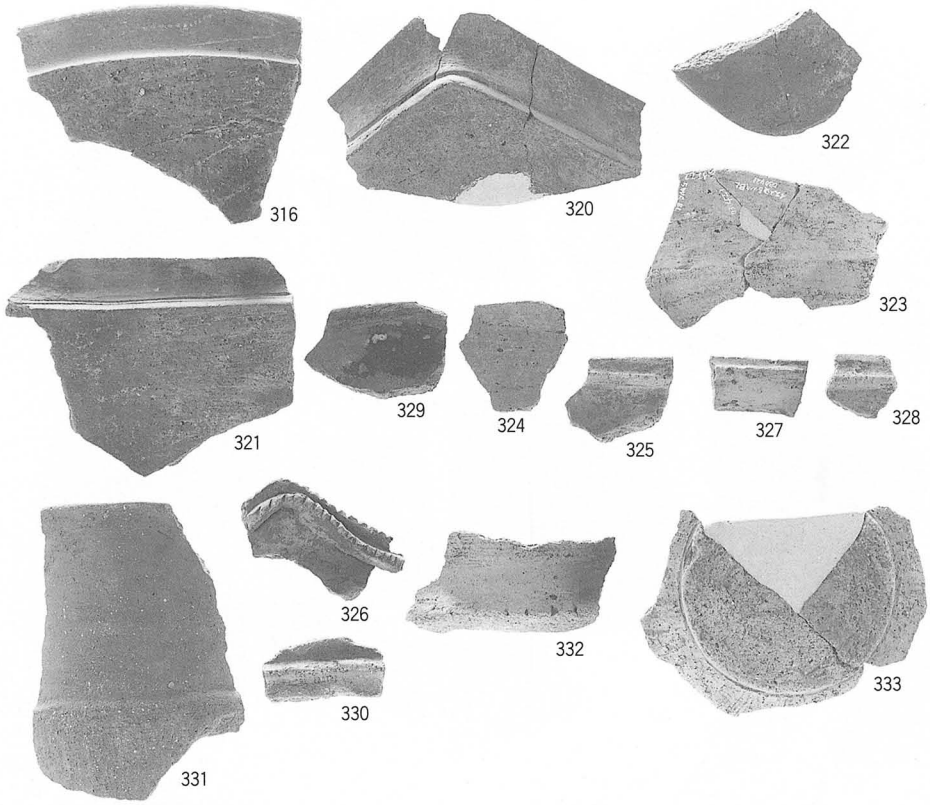


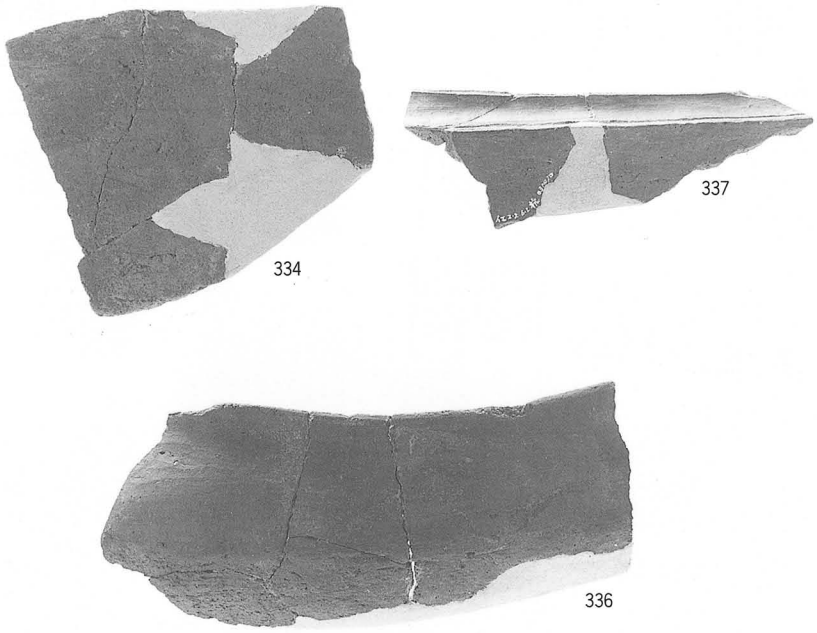
縄文土器17（縄文時代晩期）





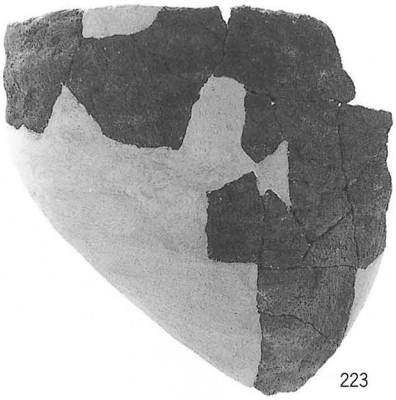
縄文土器18（縄文時代晩期）



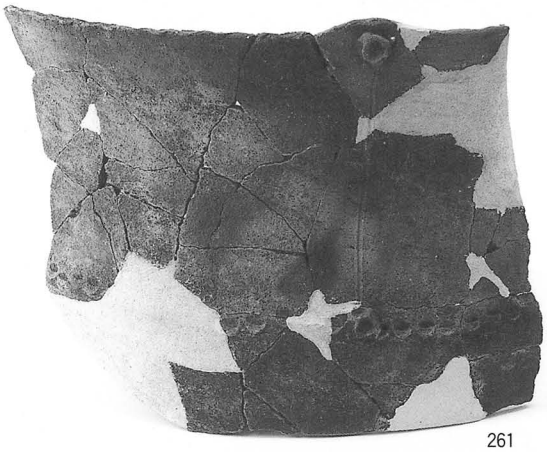


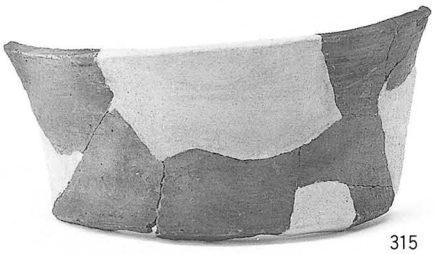
縄文土器19（縄文時代晩期）

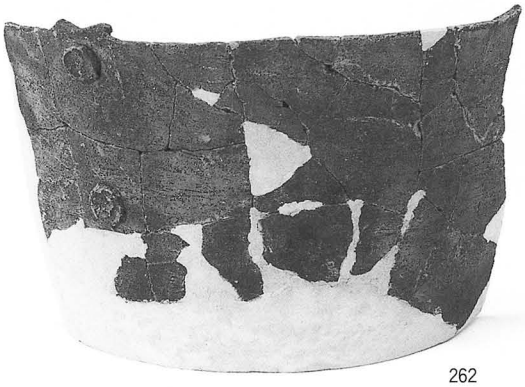
218


223

304

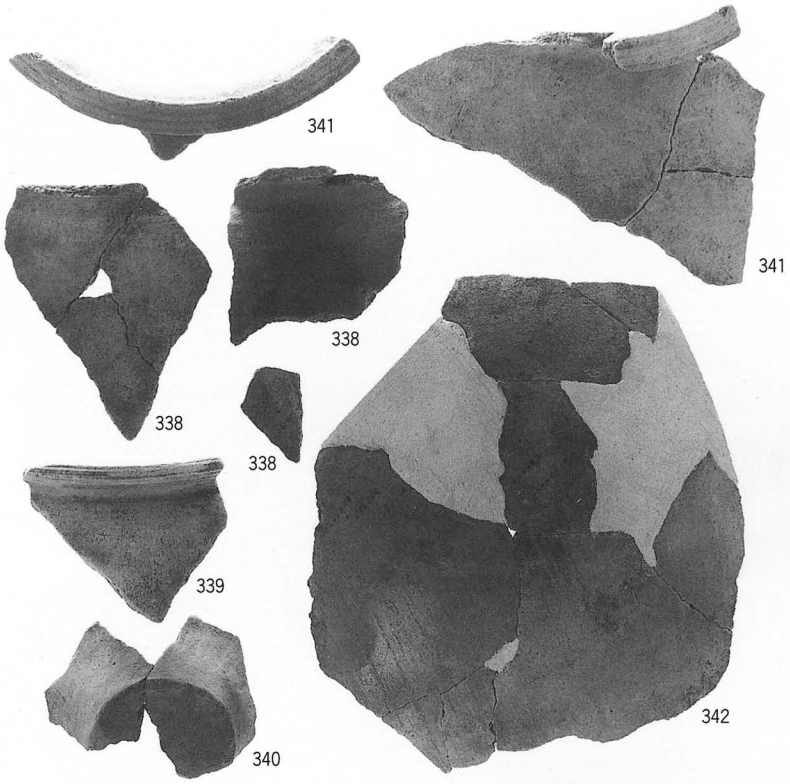

261

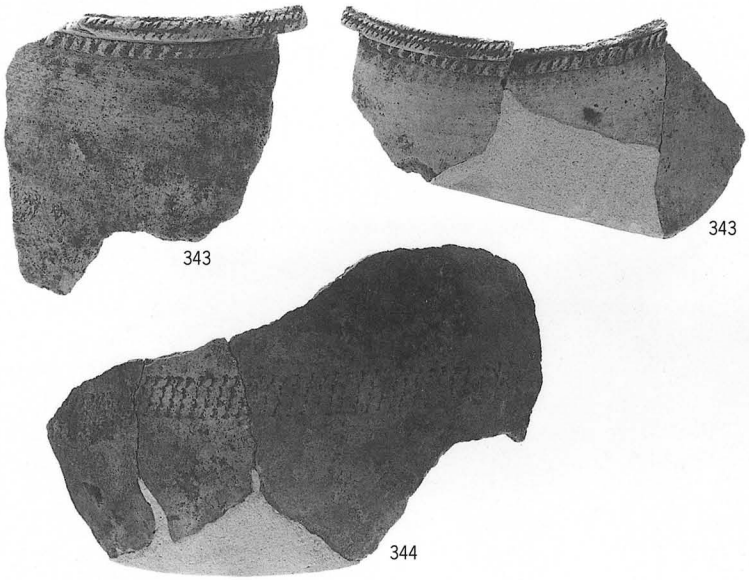

315


262

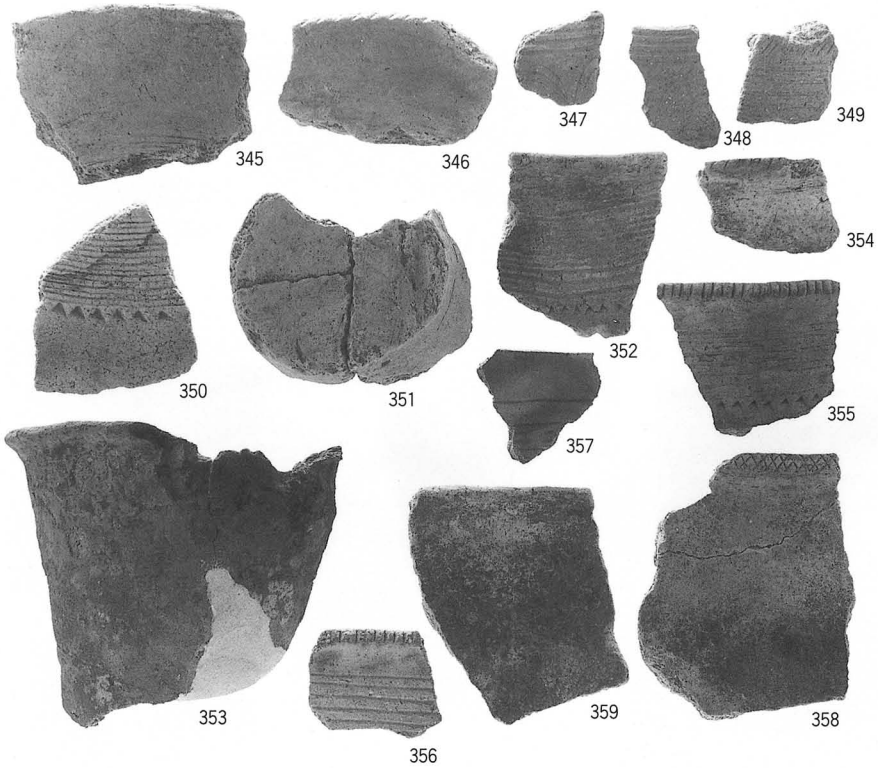
335

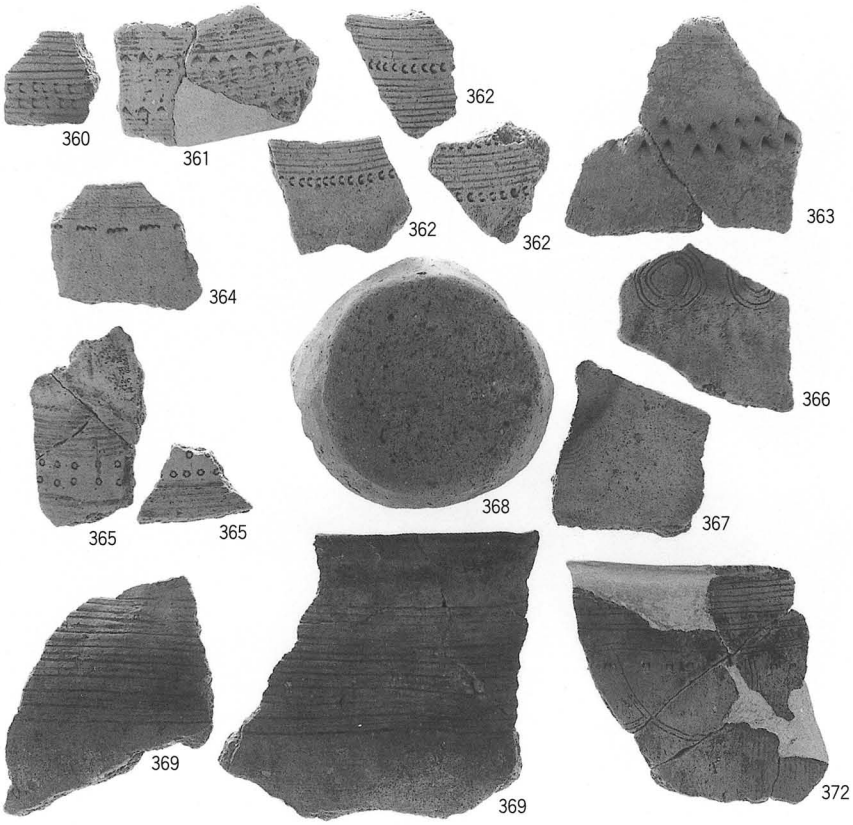
縄文土器20（縄文時代後期～晩期）



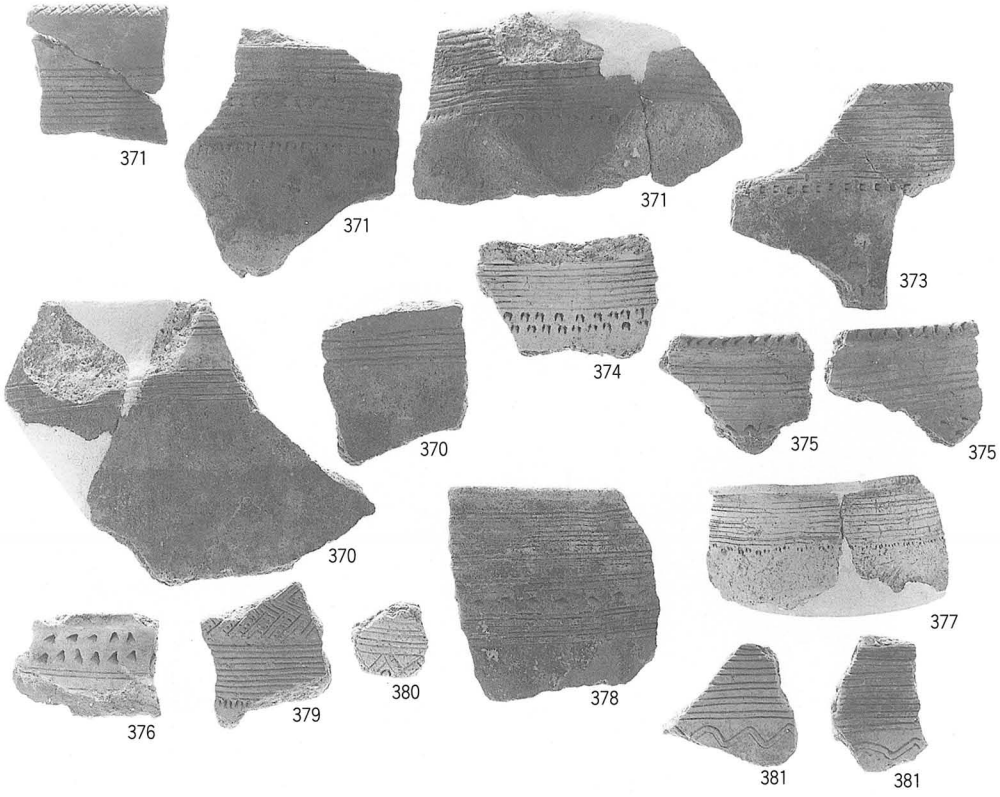


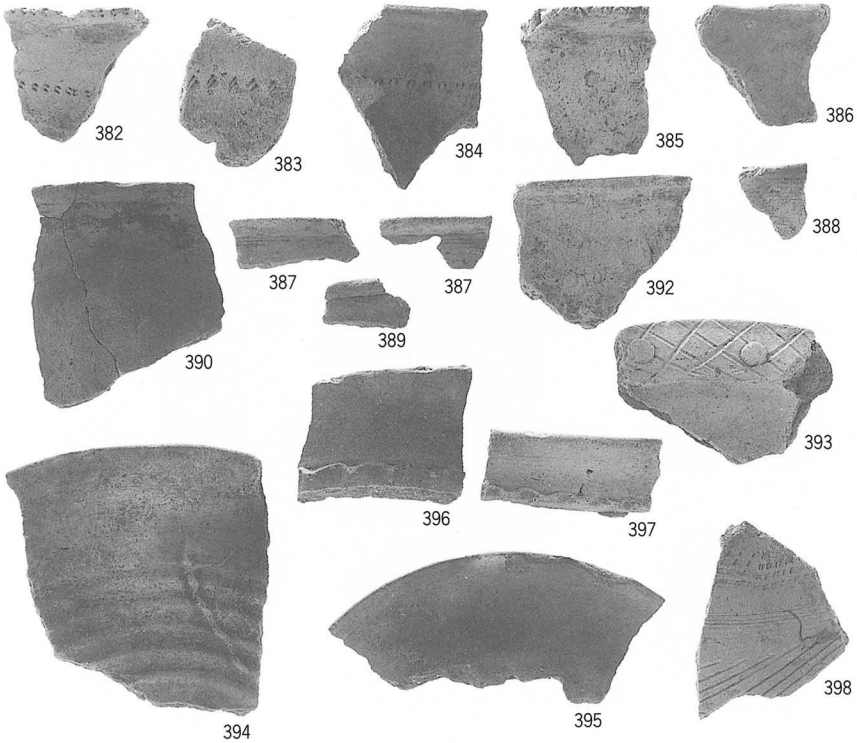
弥生土器1（竪穴住居1・P601）



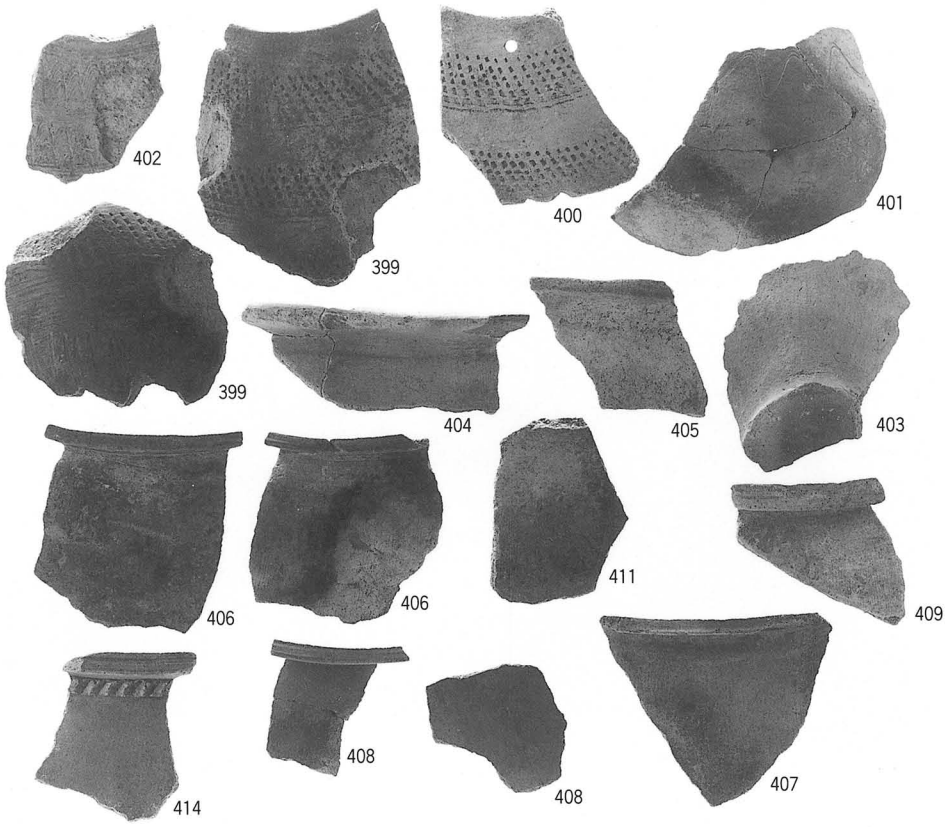


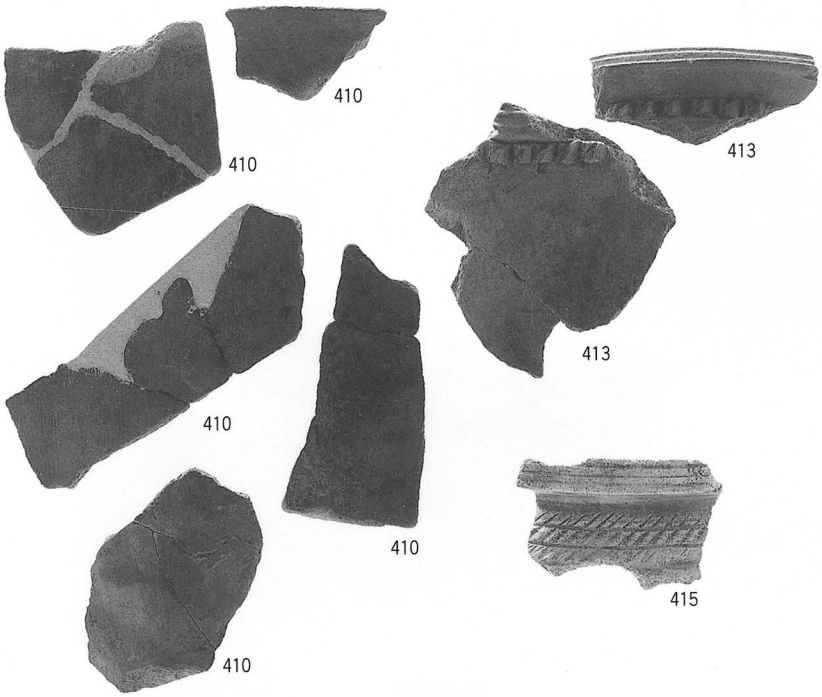
弥生土器2（弥生時代前期～中期前葉）





弥生土器3（弥生時代中期）

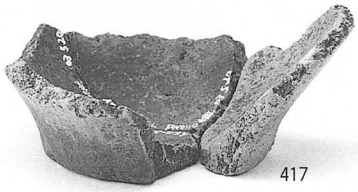


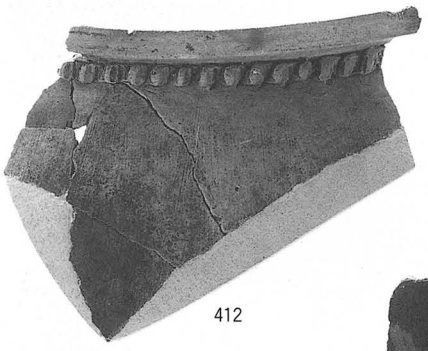


弥生土器4（弥生時代中期）

391

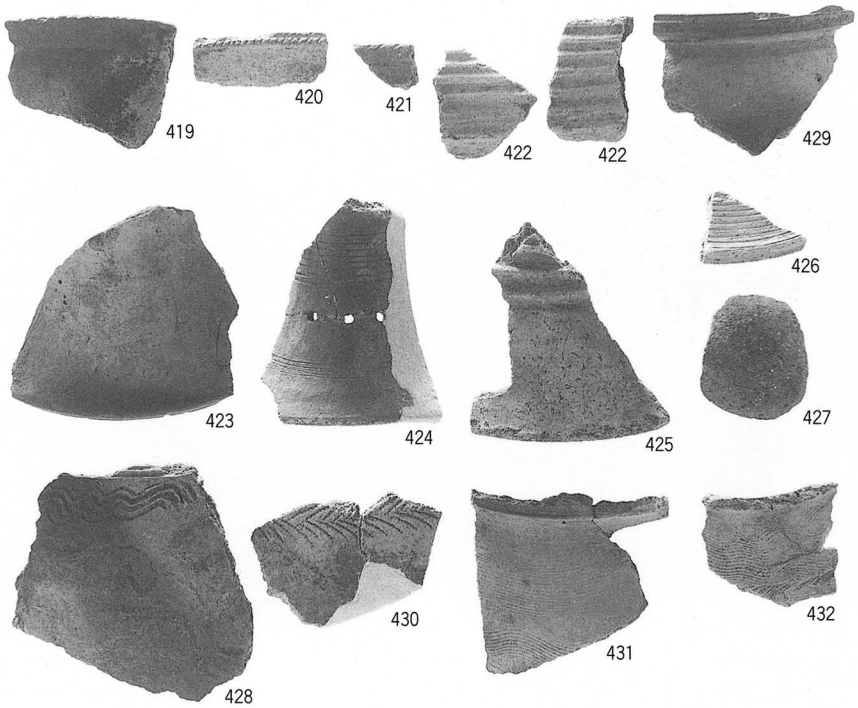
416


417

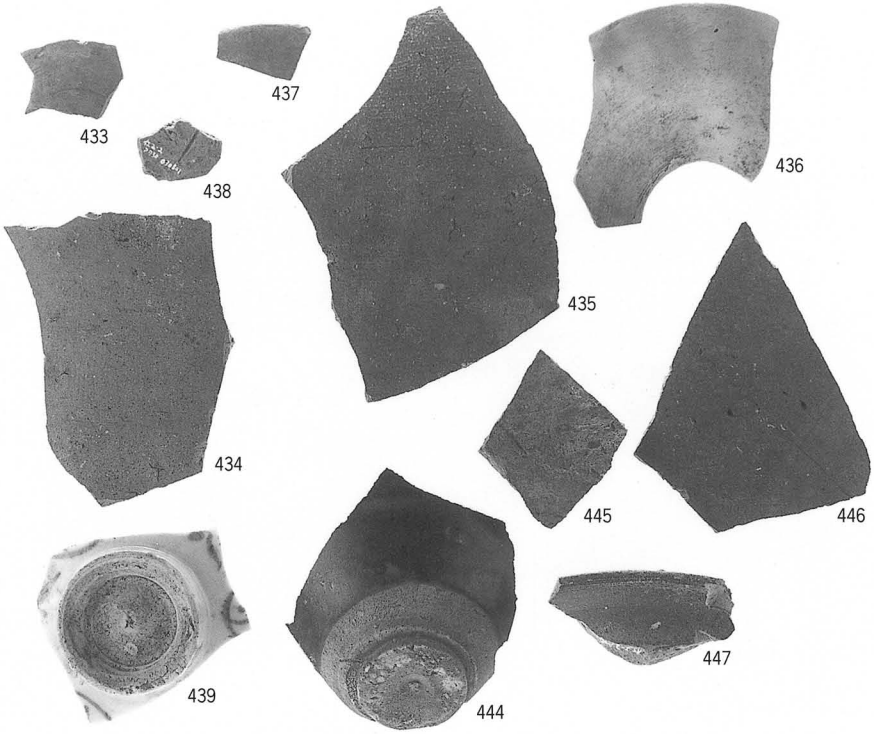

412

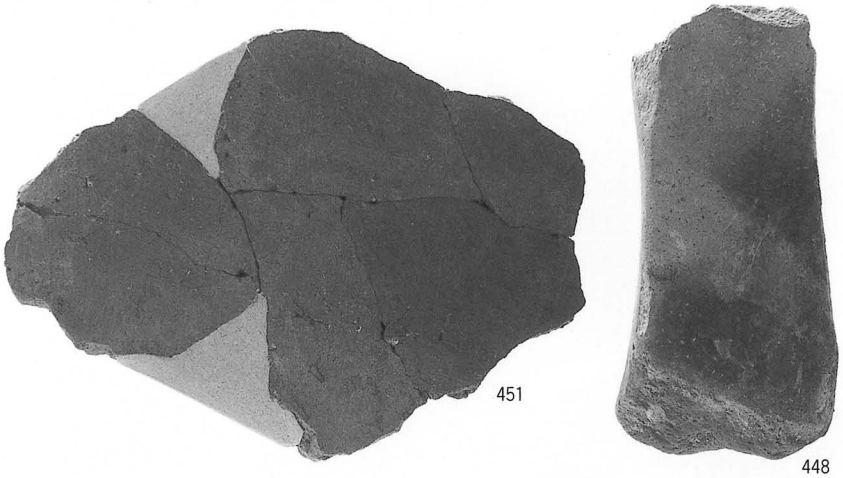
412

弥生土器5（弥生時代中期）



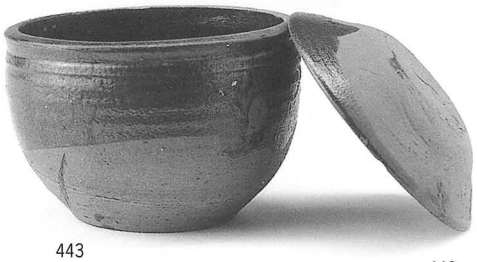
弥生土器6（弥生時代中期～古墳時代前期）





遺構出土土器1（掘立柱建物・土坑）

440　441

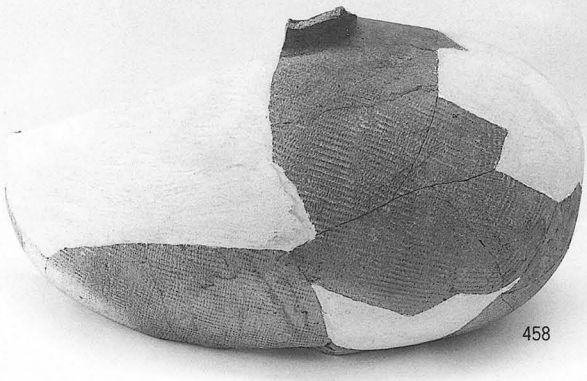


443　442

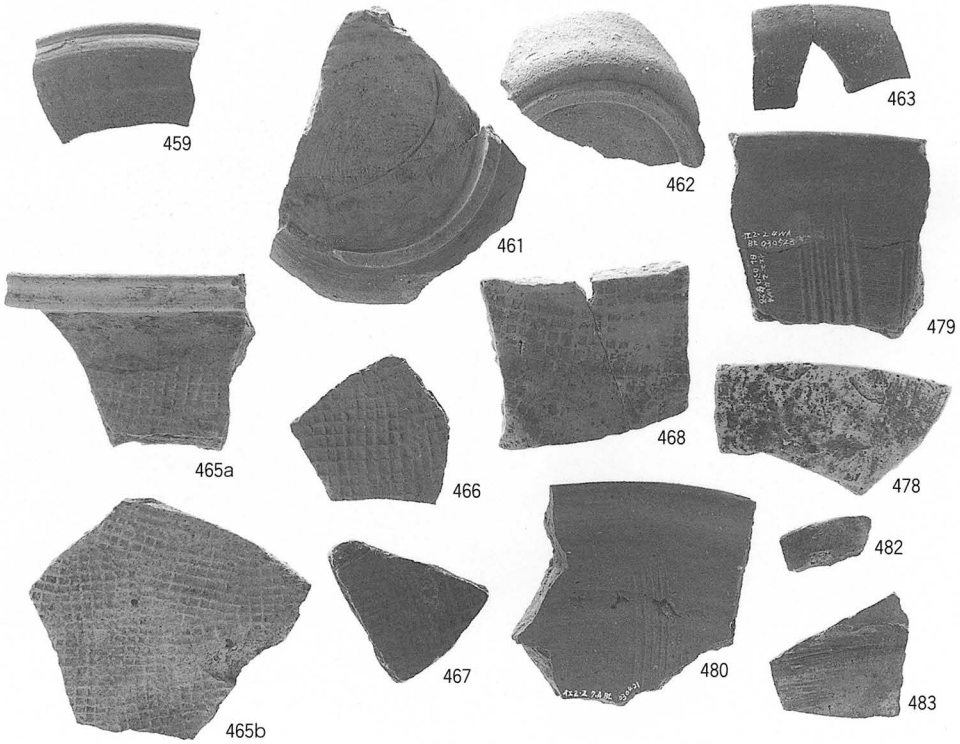
449

450

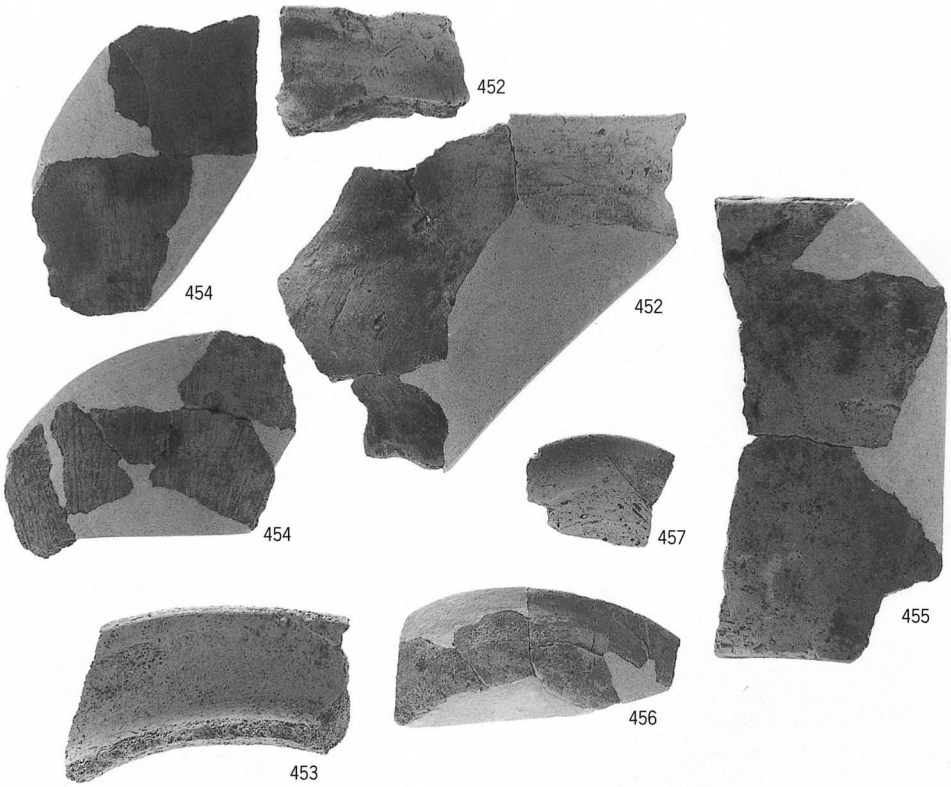
遺構出土土器2（掘立柱建物・土坑）

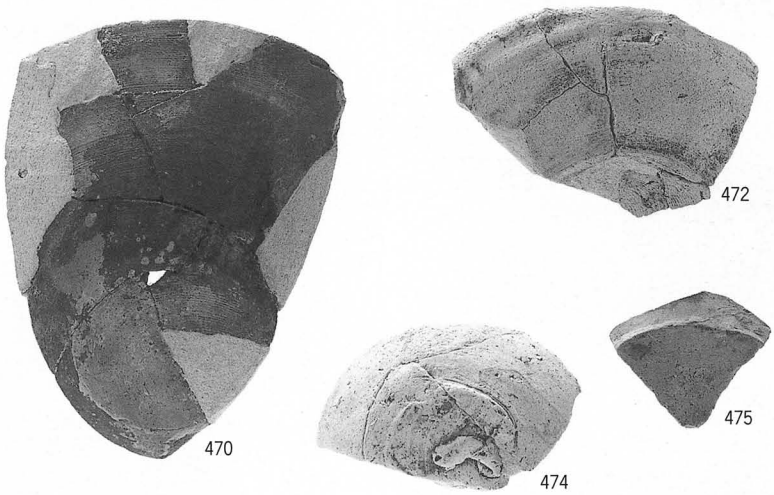

458

458

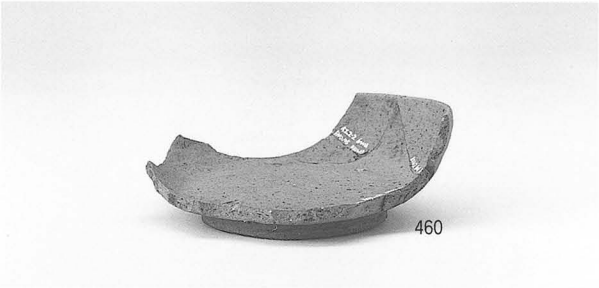

459
461
462
463
479
465a
466
468
478
465b
467
480
482
483

須恵器・擂鉢





土師器

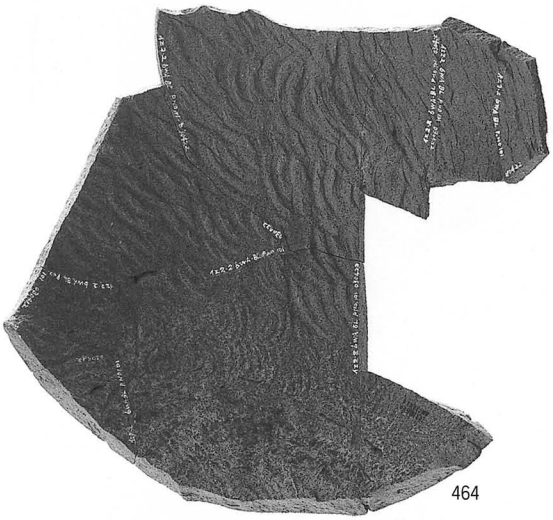

460

469

473

471

464

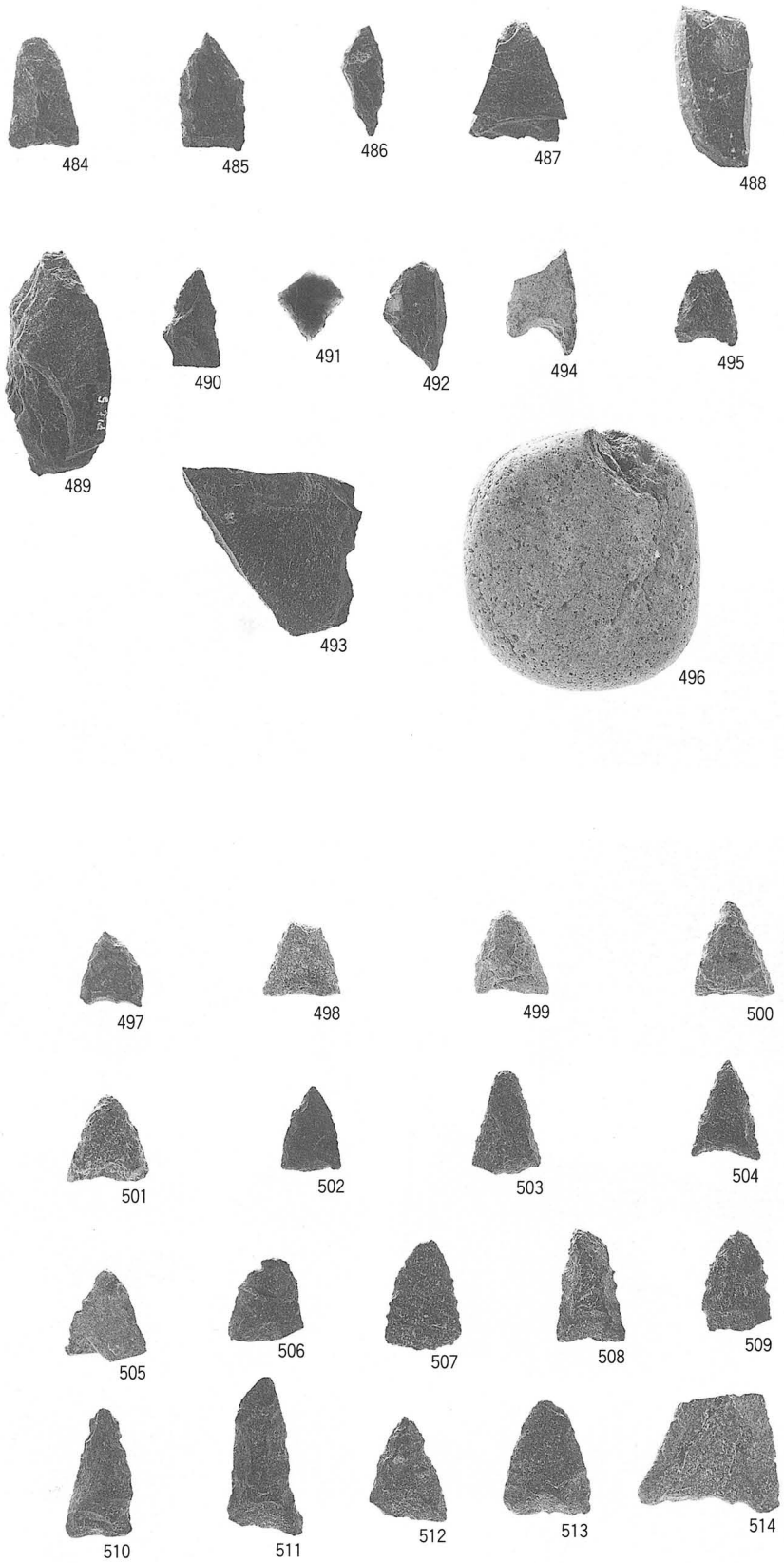

464

476

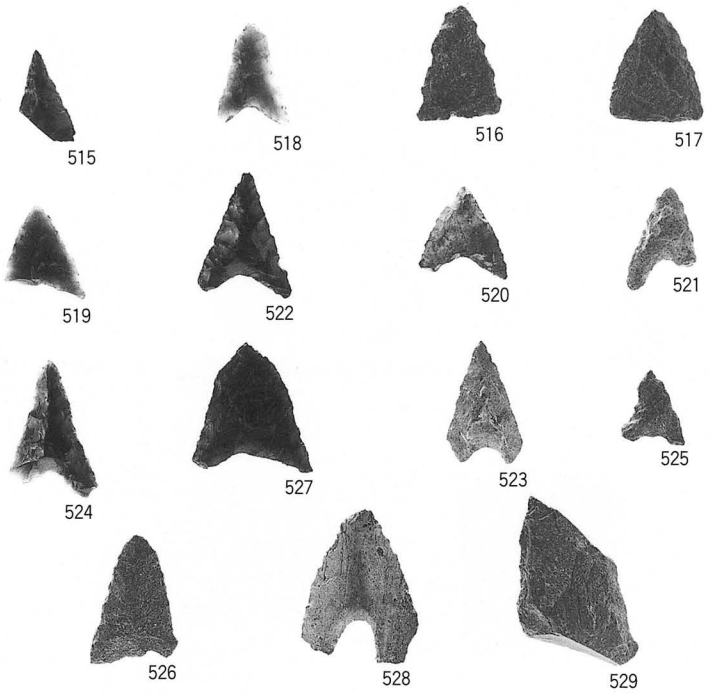
477

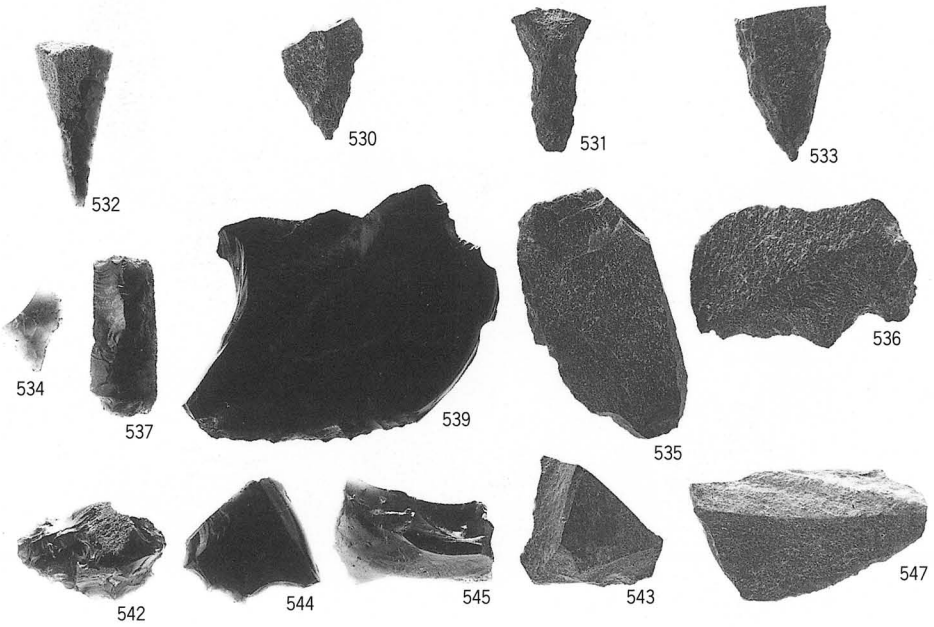
481

須恵器・土師器・青白磁・瓷器系陶器

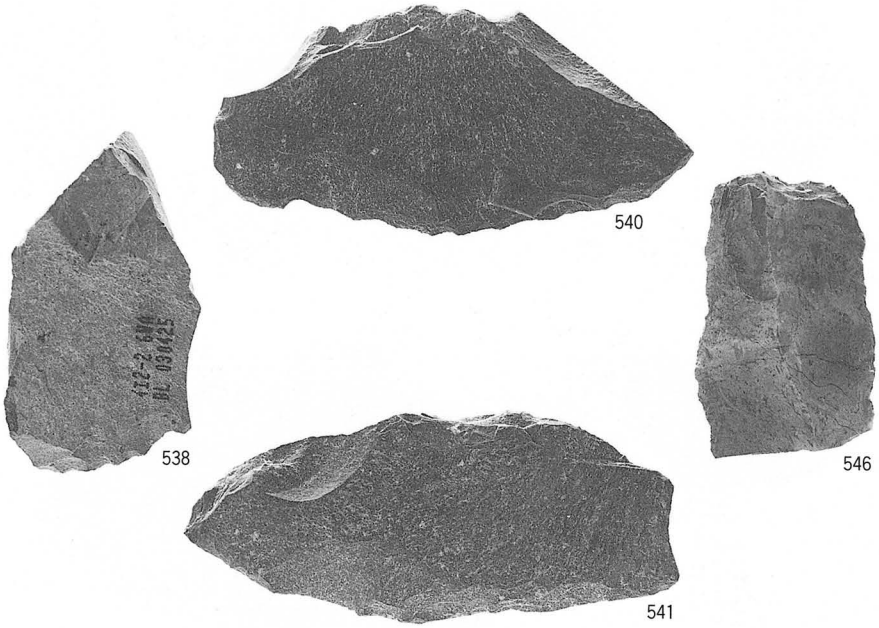

484
485
486
487
488
489
490
491
492
494
495
493
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514

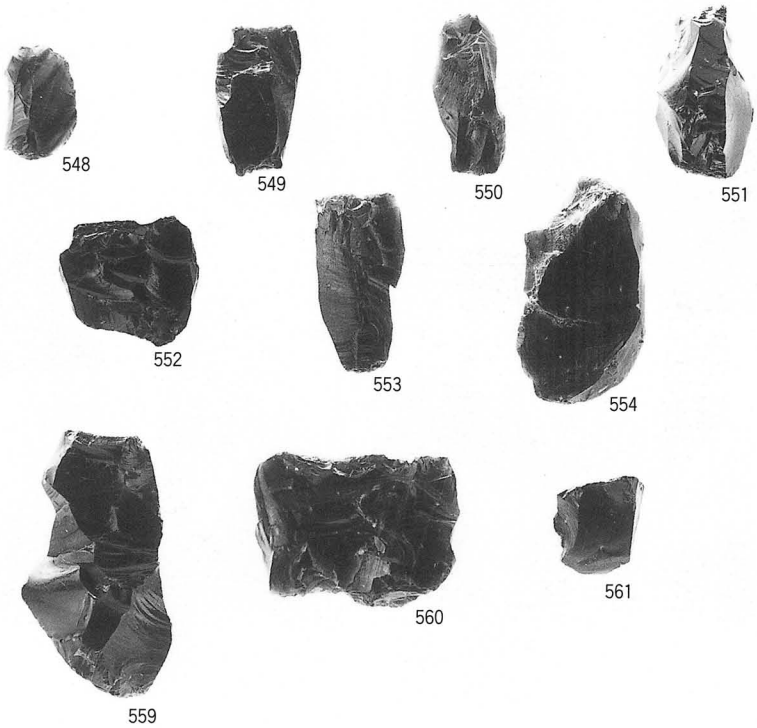
石器1（遺構出土・石鏃）



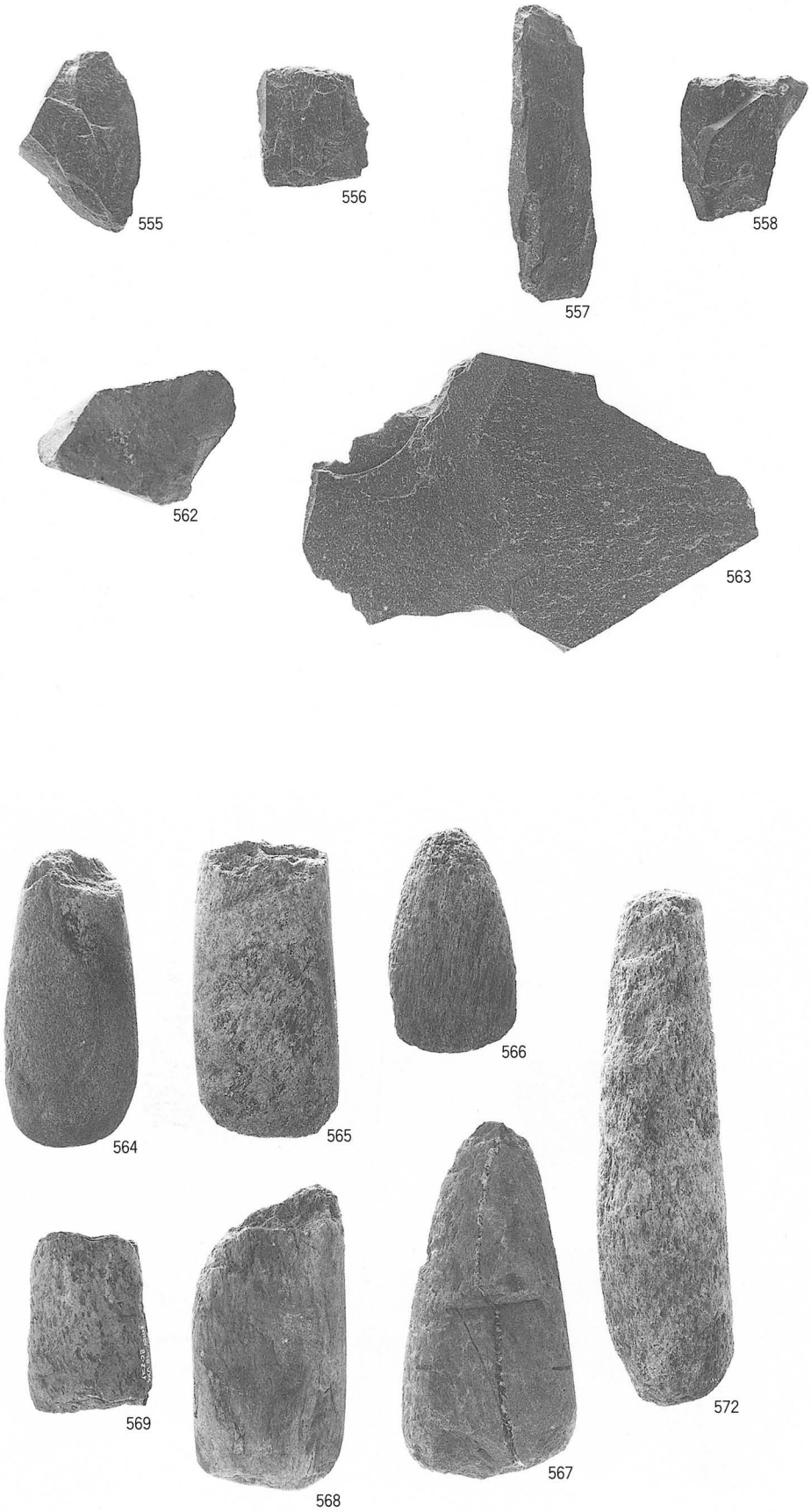


石器2（石鏃・尖頭器・石錐・スクレイパー・リタッチド フレイク・ユーズドフレイク）

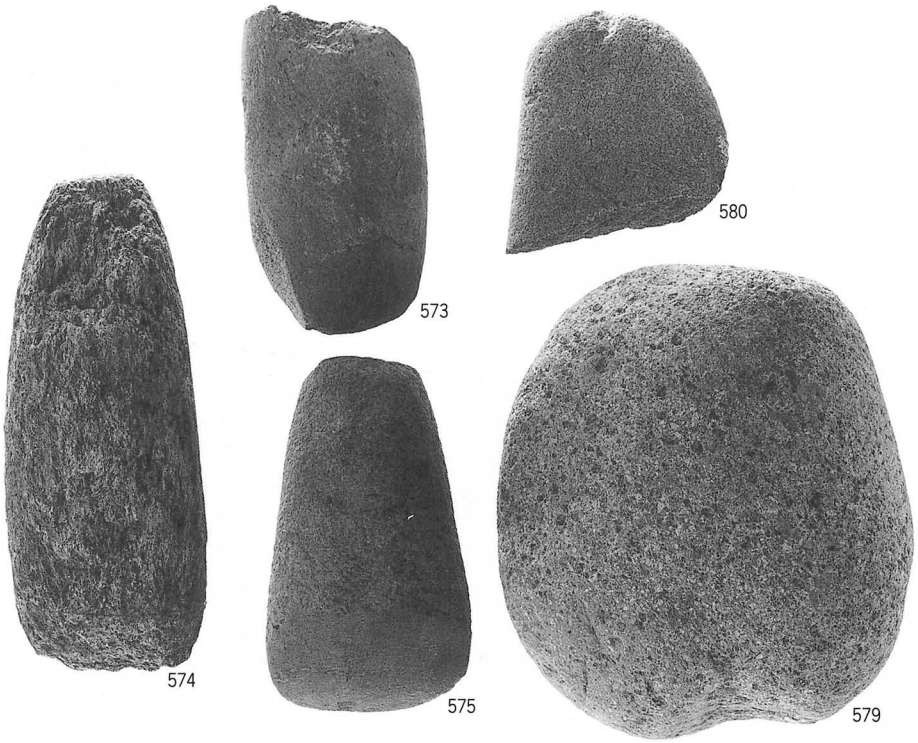


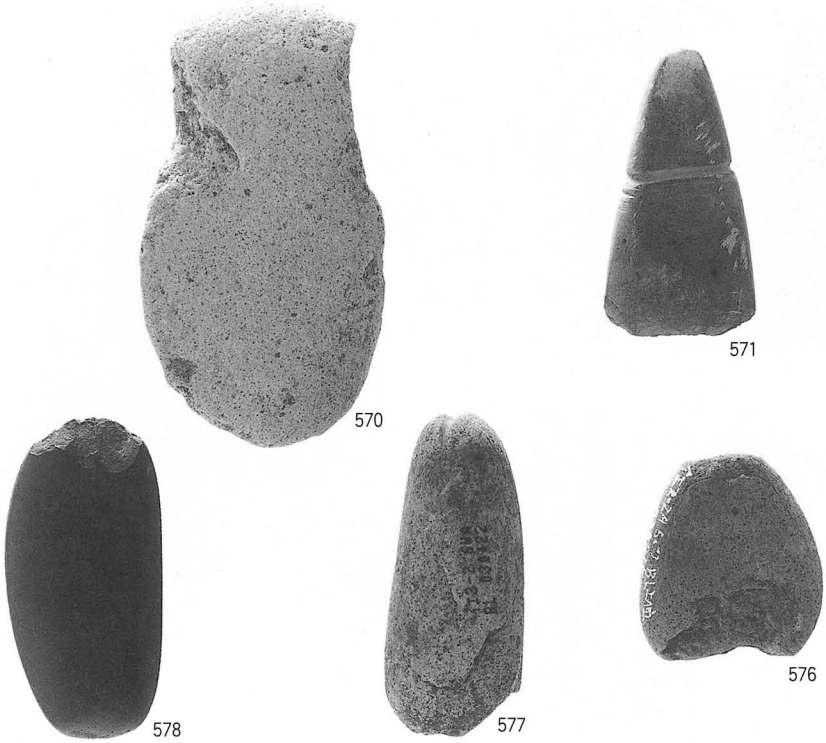


石器3（スクレイパー・楔形石器・石核）

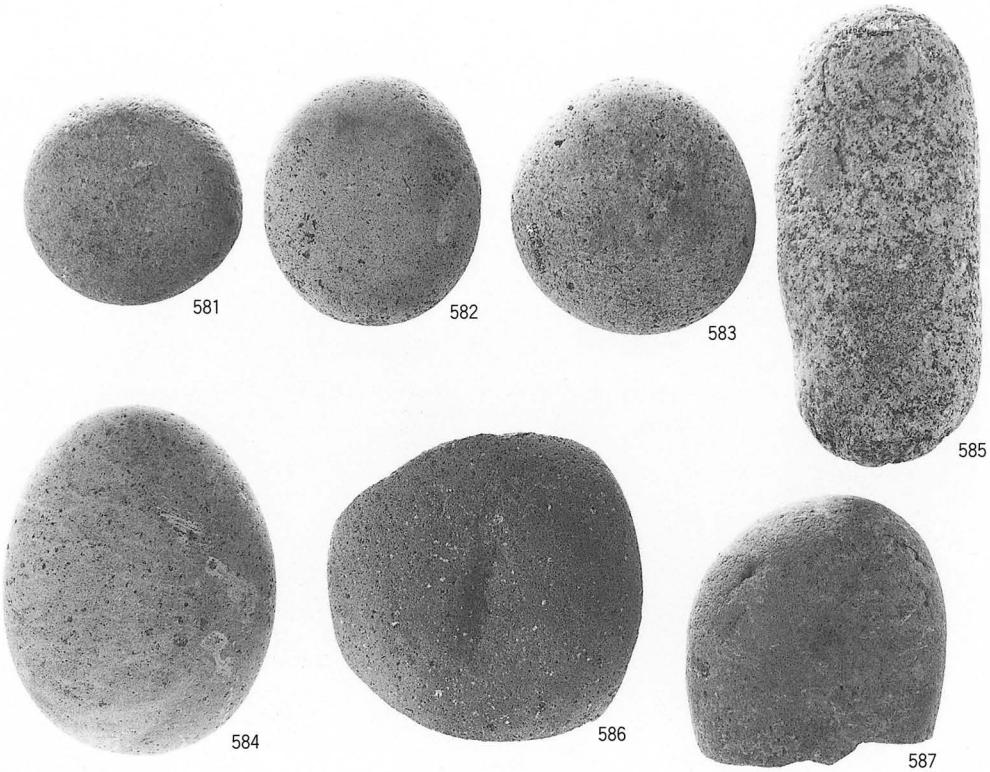


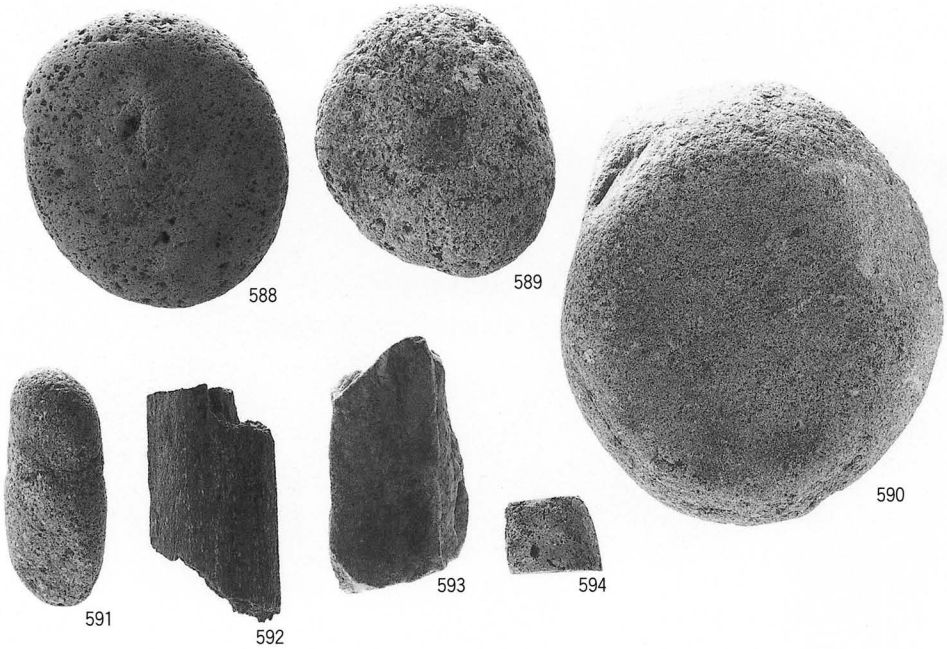
石器4（楔形石器・磨製石斧）



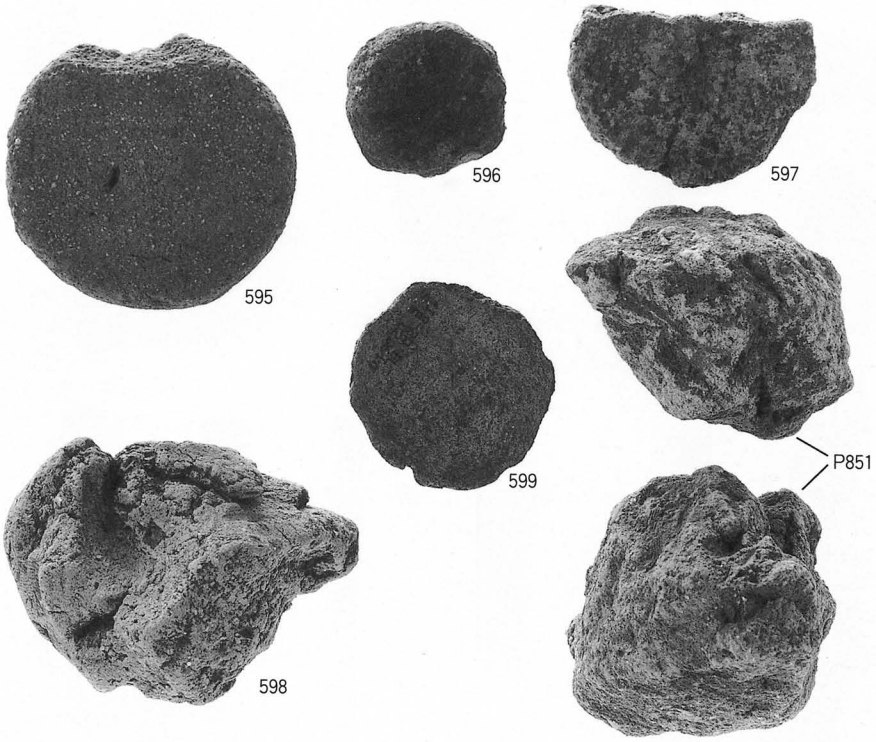


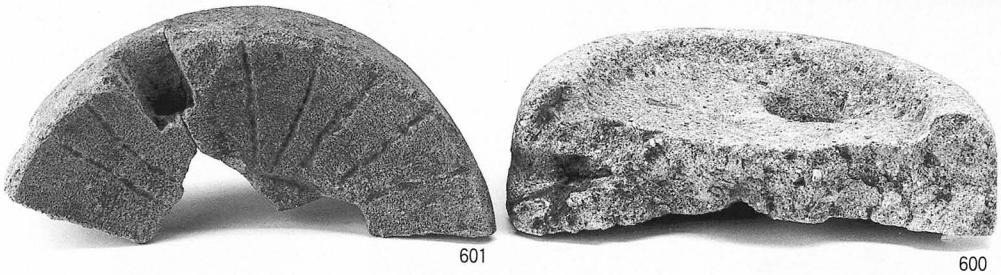
石器5（磨製石斧・石錘）



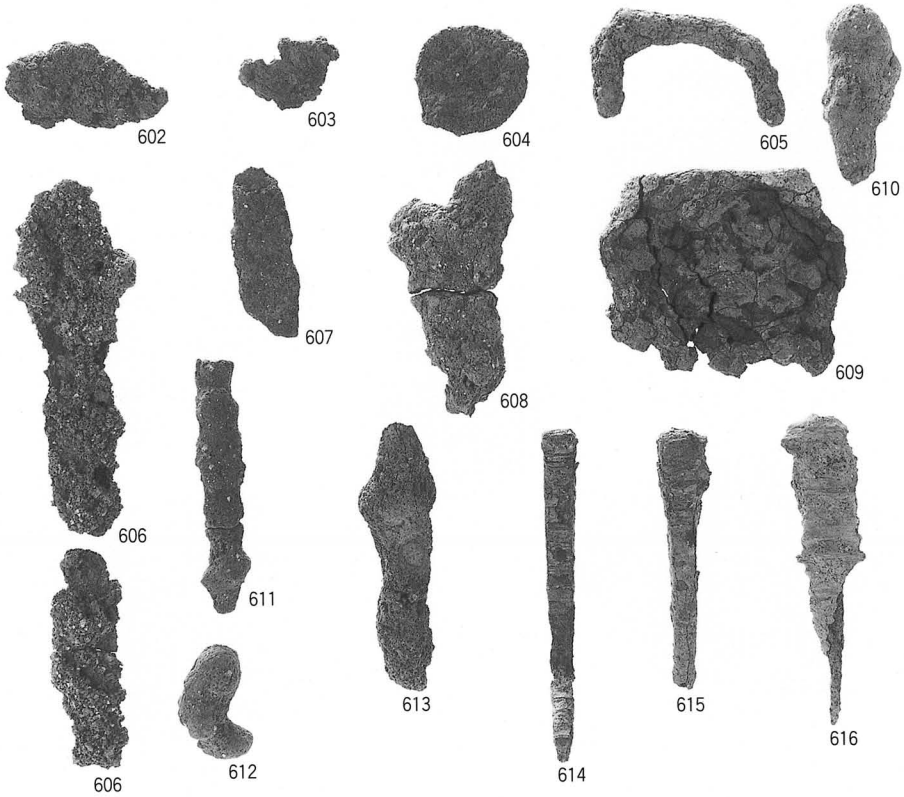


石器6（磨石・敲石・凹石・石棒・砥石・石製品）

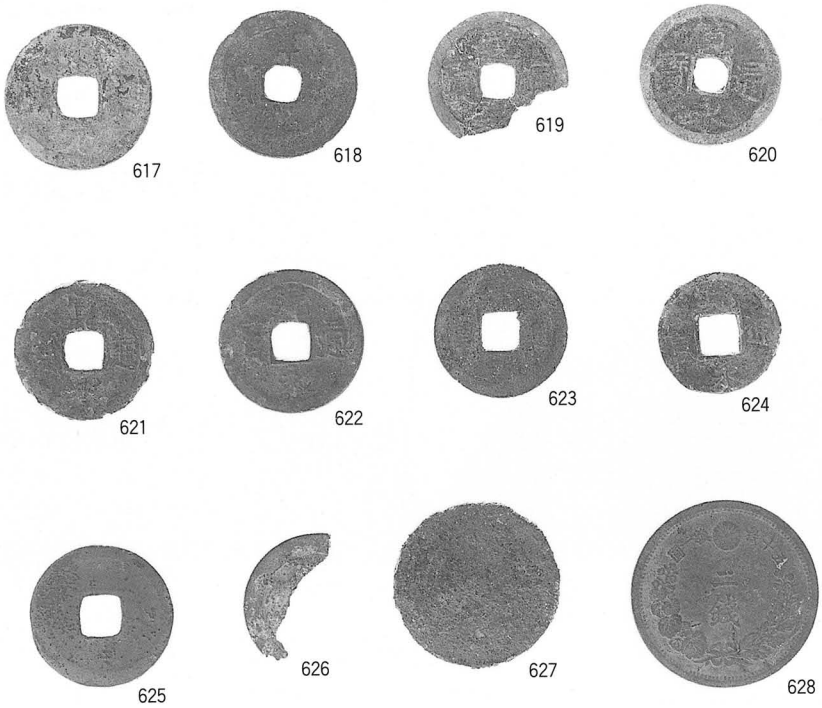




土製品・石臼


602
603
604
605
610
607
608
609
606
611
613
614
615
616
606
612

鉄製品


617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628

古銭

報　告　書　抄　録

フリガナ	ミヤノワキイセキ　イエノウシロニイセキイチ
書名	宮ノ脇遺跡　家の後Ⅱ遺跡Ⅰ
シリーズ名	尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査書
シリーズ番号	6
編著者名	中川　寧・稲田陽介・パリノサーヴェイ株式会社・若月利之・佐藤邦明（執筆順）
編集機関	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
所在地	〒690－0131　島根県松江市打出町33番地 TEL 0852－36－8608㈹　E-mail:maibun@pref.shimane.jp
発行年月日	西暦2005年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯※	東経※	調査期間	調査面積	調査原因
ミヤノワキ 宮ノ脇	シマネケン　ウンナンシ 島根県　雲南市 キスキチョウ 木次町 キタハラ 北原	32209	Q71	35度 13分 38秒	132度 57分 34秒	20020415 ～ 20020607	560㎡	ダム建設
イエノウシロニ 家の後Ⅱ	シマネケン　ウンナンシ 島根県　雲南市 キスキチョウ 木次町 キタハラ 北原	32209	Q111	35度 13分 31秒	132度 57分 35秒	20020605 ～ 20021213 20030414 ～ 20030901	6,700㎡	ダム建設

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ミヤノワキ 宮ノ脇	集落・散布地	縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代	掘立柱建物　5棟 不明遺構　1基	縄文土器　石器 弥生土器　鉄器 土師器　古銭 須恵器 中世土師器 輸入陶磁器 国産陶磁器	炭化材が出土した不明遺構 小規模な中世から近世の集落
イエノウシロニ 家の後Ⅱ	集落・散布地	縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代	土器埋設遺構　4基 配石土坑　2基 土坑　57基 掘立柱建物　24棟	縄文土器　石器 弥生土器　鉄器 土師器　石製品 須恵器　古銭 中世土師器 輸入陶磁器 国産陶磁器	土器埋設遺構は正位である 縄文時代晩期を中心とする多様な墓制を確認 中世以降の集落

要約	宮ノ脇遺跡は斐伊川を眼下に望む斜面の緩傾斜地に位置する。縄文時代から江戸時代までの遺物、中世～近世の掘立柱建物などを確認した。炭化材が多く出土した用途不明の遺構があり、古代～中世と思われる。炭化材の樹種にはノグルミやコナラ属などの広葉樹がある。鉄滓が出土したことと合わせて、調査地の近くに中世以前の製鉄遺跡が所在する可能性がある。平成13年度に木次町教育委員会が調査した、宮サコ遺跡と一連の遺跡である可能性がある。調査後は記録保存として取り扱いを行った。
要約	家の後Ⅱ遺跡は斐伊川の河岸段丘上に位置する。縄文時代早期から江戸時代までの遺物、縄文時代晩期の土坑や土器埋設遺構などの遺構、中世から近世の掘立柱建物を確認した。特に縄文晩期の土坑には配石や石を伴うものなど墓と考えられるものを含み、縄文時代晩期の多様な墓制を示す。また、各時代ごとの出土土器の分布と遺構の配置を対比させることによって、縄文時代から鎌倉・室町時代までの活動域の範囲を想定した。調査後は記録保存として取り扱いを行った。

※緯度・経度は日本測地系による

島根県雲南市

宮ノ脇遺跡
家の後Ⅱ遺跡1

尾原ダム建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書6

平成17年3月31日発行

発行　国土交通省中国地方整備局
　　島根県教育委員会

編集　島根県教育庁
　　埋蔵文化財調査センター
http://www.pref.shimane.jp/section/maibun/

印刷　㈲原印刷